

報告事項カ

鳥取県教科用図書選定審議会の第1次・第2次答申について

鳥取県教科用図書選定審議会の第1次・第2次答申について、別紙のとおり報告します。

平成20年7月15日

鳥取県教育委員会教育長 中 永 廣 樹

平成20年5月27日

鳥取県教育委員会

委員長 山田修平様

鳥取県教科用図書選定審議会

会長 土井康作



平成21年度に使用する小学校教科用図書並びに特別支援学校及び特別支援学級における教科用図書の採択に関する事項について(第1次答申)

平成20年5月27日付けで諮問のあった平成21年度に使用する小学校並びに特別支援学校及び特別支援学級における教科用図書の採択に関する下記の事項について、別添のとおり答申します。

記

- 1 平成21年度に使用する小学校教科用図書の採択基準について
- 2 平成21年度に使用する特別支援学校並びに特別支援学級における教科用図書の採択基準について
- 3 市町村教育委員会及び義務教育諸学校(公立の義務教育諸学校を除く)の校長が採択する場合に県教育委員会が行うべき役割について

平成 21 年度使用小学校教科用図書採択基準

義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律及び同法施行令並びに同法施行規則の示すところに基づき、平成 21 年度に小学校（特別支援学校の小学部を含む。）において使用する教科用図書について、市町村教育委員会及び義務教育諸学校（公立の義務教育諸学校を除く）の校長の行う採択に関し、基準を定める。

- 1 小学校（特別支援学校の小学部を含む。）で使用する教科用図書の採択は、学校教育法附則第 9 条の規定による一般図書（特別支援学校・学級用）を除き、「小学校用教科書目録（平成 21～22 年度使用）」に記載されている教科書のうちから採択する。
- 2 採択地区内の市町村教育委員会は、協議して種目ごとに同一の教科用図書を採択するため、地区採択協議会を設けるとともに、採択に関する協議は、県教科用図書選定審議会と対等の立場で行うものとする。
- 3 採択は、県教育委員会の提供する「選定に必要な資料」に基づき、地域や児童生徒の実態等を考慮し、十分な調査研究のもとに市町村教育委員会及び義務教育諸学校（公立の義務教育諸学校を除く）の校長が行う。

平成 2 1 年度に使用する特別支援学校並びに特別支援学級 における教科用図書の採択基準

- 1 特別支援学校の小学部及び中学部において平成 2 1 年度に使用する教科用図書は、「義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律」第 1 3 条第 5 項の規定により、学校教育法附則第 9 条の規定による教科用図書を除き、「特別支援学校用教科書目録（平成 2 1 年度使用）」に搭載された教科書のうちから採択する。
- 2 小学校及び中学校の特別支援学級において平成 2 1 年度に使用する教科用図書は、学校教育法附則第 9 条に規定する教科用図書を除き、「義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律」第 1 4 条に定めるところにより、小学校においては平成 2 0 年度、中学校においては平成 1 7 年度に採択された同一の教科用図書とすること。
- 3 特別支援学校並びに特別支援学級において使用する学校教育法附則第 9 条の規定による教科用図書の採択については、県教育委員会の提供する「選定に必要な資料」に基づき、児童生徒の障害の実態等を十分考慮すること。

市町村教育委員会及び義務教育諸学校（公立の義務教育諸学校を除く）の校長が採択する場合に県教育委員会が行うべき役割

県教育委員会は、市町村教育委員会及び義務教育諸学校（公立の義務教育諸学校を除く）の校長に対し、次のことに留意し採択を実施するよう指導、助言又は援助するものとする。

1 専門的な調査研究の充実について

- (1) 選定資料が、学習指導要領に示された「目標」及び「内容」に即して各教科書の特徴等がわかるものとなるようにすること。
- (2) 学校教育に経験豊かな者のうちから、適切な数の調査員を選任し配置すること。

2 適正かつ公正な教科書採択の推進について

- (1) 採択権者は公正確保の徹底を図るとともに、自らの権限と責任において適正な採択を行うこと。
- (2) 地区採択協議会で協議して採択する場合は、関係市町村教育委員会の意向が十分反映されるよう工夫すること。
- (3) すべての検定済教科書を対象とした調査研究を行うとともに、調査員の権限と責任の範囲を明らかにすること。

3 開かれた教科書採択の推進について

- (1) 採択結果及び採択理由、選定資料、会議録、協議会委員及び調査員の氏名等を採択事務の支障のない範囲で公表すること。
- (2) 教科書展示会等の来場者の意見を教科書採択事務の改善等に活用すること。

平成20年6月25日

鳥取県教育委員会

委員長 山田修平様

鳥取県教科用図書選定審議会

会長 土井康作



平成21年度に使用する小学校教科用図書並びに特別支援学校及び特別支援学級における教科用図書の採択に関する事項について(第2次答申)

平成20年5月27日付けで諮問のあった平成21年度に使用する小学校並びに特別支援学校及び特別支援学級における教科用図書の採択に関する下記の事項について、別添のとおり答申します。

記

- 1 平成21年度に使用する小学校教科用図書の選定に必要な資料について
- 2 平成21年度に使用する特別支援学校並びに特別支援学級における教科用図書の選定に必要な資料について
- 3 県の設置する義務教育諸学校において使用する教科用図書の採択について

小学校教科用図書の選定に必要な資料

平成16年度作成
平成20年度一部修正

鳥取県教科用図書選定審議会

項目		38 光村図書
1	範囲及び程度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習指導要領に示す事項を適切に取り上げている。
2	選択・扱い 組織・分量	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平和、福祉、環境などにおいて考えられることの中で、題材が配列されており、幅広い学習が進められる。 ・ 内容構成、文章表現等優れた題材が多いが、読みがみが進めにくいところもある。 ・ 詩の指導では、学習の機会が十分に扱えない。 ・ 国語の学習の重点として導入単元、一つの領域の学習内容を組み立てた複合単元と、バランスよく組織されている。
3	正確性・表記・表現等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 5年上「新しい友達」に友だちを呼び捨てにする箇所がある。
4	創意工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入門期の話す・聞く学習は生活科と関連させた構成にすることが重視されたことを生かして、「1年間の学習を設定して、自分で分ける」。
5	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行間が広く、読みやすい。 ・ 紙質がしっかりしている。

項目	発行者	2 東京書籍	3 大阪書籍
1	範囲及び程度	<ul style="list-style-type: none"> 適切である。 	<ul style="list-style-type: none"> 教材の難易度が全体的に高い。(教材数・文字数・画数) 6年生では、課題別選択教材が5文字まで扱われており、発展的な扱いであっても、高度である。
2	選択・扱い 組織・分量	<ul style="list-style-type: none"> 題材数・文字数が少なく内容が基本的なことに絞ってあり、学年に応じた教材が適切に扱われている。 単元ごとのねらいが明確であり、児童に指導事項がわかりやすく学べるように工夫されている。 実物大の手本が多く指導しやすい。 手本がしっかりとした書体である。 硬毛関連指導が意識された内容配列になっている。 「調べよう」「確かめよう」「広げよう」など、主体的に学ぶ配慮がある。 「もっと調べよう」で繰り返し既習事項を学ぶ場を位置づけている。 3年のたて画の教材「下」は、よこ画にたて画の始筆が重なり、始筆が意識できない恐れがある。 朱墨と淡墨による毛筆の筆使いは、児童にとって筆の動きを視覚にとらえることができ理解しやすい資料である。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習のポイントが具体的に示されており、児童にとっても学習内容が不明確である。 毛筆の入門期に、線遊びが示されているが、線種が限られており不適切である。 小筆の指導は丁寧である。 フェルトペンや大筆、小筆など用具の説明が詳しく丁寧である。 たて画が中心にある文字の学習では、扱う文字の種類が少なく広がりがあるとよい。 毛筆の後片付けが丁寧に示されている。 硬毛関連指導が少ない。
3	正確性、表記 ・表現等	<ul style="list-style-type: none"> 適切である。 	<ul style="list-style-type: none"> 毛筆文字は肉太で、力強い書風である。 「手紙の書き方」で、一字下げをしていないのが表記上気になる。
4	創意工夫	<ul style="list-style-type: none"> 児童が楽しく意欲的に学べる工夫が随所にしてあり、児童の興味や関心を引きやすい。 「できたよシール」は、児童の主体的な自己評価に役立つ。 総合的な学習、他教科との関連でその学年の学習内容に応じた題材が示されており、学習を日々の学習の中で活かせるような配慮がある。 個に応じた学習が3年以上に示されている。めあてを選んでは学習の視点があがる。 色使いや挿絵などが工夫してあり、わかりやすく楽しんで学習できる配慮が多くある。 	<ul style="list-style-type: none"> 3年以上のまとめの題材は、選択教材の設定がなされている。 「読みやすく書こう」では、幅広く書く場面がとらえられており、内容が充実し、児童の書きたい意欲を高めている。 5・6年は学習の進め方が始めに示されており、主体的な学びができるよう工夫されている。 1年では白抜き文字が手本として示されている。
5	その他	<ul style="list-style-type: none"> 児童の親しみやすいものが、挿絵に使用されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 巻末の漢字表は、筆順も示されており、資料として有効である。

項目	発行者	1 1 学校図書	1 7 教育出版
1	範囲及び程度	<ul style="list-style-type: none"> 毛筆の題材では、画数が多い教材が扱われており、発達段階より難易度が高い。 	<ul style="list-style-type: none"> 6年生では、課題別選択教材が5文字まで扱われており、発展的な扱いであっても、高度である。
2	選択・扱い 組織・分量	<ul style="list-style-type: none"> 1年、3年の硬筆・毛筆の入門期の指導内容が、練習や筆に慣れるための扱いが少なく難しい。 扱われている文章の意味がわかりづらいところがある。 手本が小さい。原寸大がほしい。 半紙を横置きにして書く扱いがあり、今まではない発想が取り入れられている。 「生活に生かそう」では各教科領域等の学習と関連した「書く」素材を多く扱っている。 第1学年の硬筆の資料として1文字の学習が少なく、次のステップは文の指導を取り上げるなど内容配列に課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習事項が児童にわかりやすい言葉で示されていない。 「行書」が5年から発展的な扱いで取り上げられているが、発展的な扱いであっても、発達段階として高度である。 毛筆の「はじめの学習」が丁寧に扱われており、内容・分量も十分であり写真の効果もあってわかりやすい。 手本が小さい。 硬筆指導について、視覚的にとらえられる工夫に乏しい。 低学年では、言葉（文字）を書きその上で書写的要素（語）を取り上げ文章に進んでいく学習の流れになっており、言葉としての文字指導の視点がある。 入門期の用具の扱いの指導に重点がおかれている。 「基本点画」など使用されている用語の説明が不十分で、児童にとってわかりにくい。
3	正確性・表記 ・表現等	<ul style="list-style-type: none"> 低学年の書体全般に幼い感があり、バランスの悪い字も見られる。 1年生の硬筆の鉛筆の字が薄い。 指導事項の表記が小さくわかりづらい。 	<ul style="list-style-type: none"> 吹き出しの文に助詞を省略した表現があり、不適切である。 毛筆の手本に「にじみ」が見られる。 特に低学年の教科書で、学習内容に関係のないイラストが多い。
4	創意工夫	<ul style="list-style-type: none"> 毛筆の3年生から「毛筆学習のすすめ方」が示され、児童の課題解決学習が明確に示され、自学自習の仕方についても「かご書き・ほね書き」が丁寧に説明されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「トライアンドチャレンジ」で、他の学習に生かすという観点があるが、扱われる教科領域の関連の幅が狭い。 毛筆教材に、硬筆による「ためしがき」「まとめがき」などの書き込み欄を設定し、硬筆との関連に重点をおいた紙面構成になっている。 筆順など色分けもなくわかりにくい。
5	その他	<ul style="list-style-type: none"> 紙質がしっかりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 紙がやや薄い。

項目	発行者	3.8 光村図書出版
1	範囲及び程度	<ul style="list-style-type: none"> 硬筆の指導内容が焦点化されていない。説明が丁寧であるが、文字数が多く児童にわかりづらい。 毛筆の内容は基本的なことに絞られており、単元ごとのねらいが児童にわかりやすく適切である。
2	選択・扱い 組織・分量	<ul style="list-style-type: none"> 学習事項の説明が小さく児童にとってわかりづらい。 硬筆の教材の内容配列に課題がある。 「おかしな文字の取り扱い」に正しい手本が示されておらず、直す観点が個々に任せられ、指導する上で難しさがある。 毛筆と硬筆の関連指導が効果的にできるような内容配列になっている。 「かくのとちゆうに」など運筆を表す言葉がわかりづらい。 毛筆教材はわかりやすく説明されている。 4年以上の硬筆の扱いが少ない。
3	正確性・表記 ・表現等	<ul style="list-style-type: none"> 低学年の解説の絵やマークが児童にとって視覚的にとらえやすい。
4	創意工夫	<ul style="list-style-type: none"> 巻末に「もつと知りたい」という発展教材が入っている。全学年とも次の学年の指導内容が発展的な内容として扱われている。 5・6年で選択教材が扱われている。 「書写の広場」が設定されており、身近な生活や他教科領域との関連が図られている。 毛筆が日本の文化としてとらえられており、3年以上の学年に扱われるなど工夫が見られる。
5	その他	<ul style="list-style-type: none"> 紙質がよい。 巻末の漢字表には筆順・画数のほかに毛硬筆の書体を取り上げてあり、資料として有効である。

<p>項目 \ 発行者</p>	<p>2 東京書籍</p>	<p>3 大阪書籍</p>	<p>11 学校図書</p>
<p>目標や内容に即した教科書の特徴</p>	<ul style="list-style-type: none"> 指導事項の焦点化が図られ、児童の側から基礎・基本が学べるよう工夫されている。 題材数や文字数が少なく、毛筆では3年から6年まで扱われる教材が平易なものに厳選され、どの児童にも学習の定着を図れる内容である。 硬毛関連指導が充実しており、高学年まで指導すべき内容と関連した硬筆の扱いが充実している。 主体的な学習への配慮が単元を通して行われている。児童に対して、学習の定着や活動を促す言葉かけが多くある。 該当学年の他教科・領域の学習場面に応じた教材が取り上げられている。 個に応じた学習が、3年以上の学年で扱われている。 基礎基本を学習するのに適切な書体である。 鉛筆の持ち方と箸の持ち方とを比較する記述があり、わかりやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> 5・6年で学習の進め方が示され主体的な学習ができるよう配慮されている。 毛筆は見開き2ページで示し、とらえやすい。 指導事項が書き込めるスペースがある。 毛硬関連指導が随時設けられている。 「読みやすく書こう」では総合的な学習との関連が丁寧に取り上げられており、国語科の指導事項が3年以上から継続して扱われている。 毛筆文字は、肉太で力強い書風である。 指導事項は焦点化されているが、児童への指導内容を定着させるための表現が少ない。 半紙横長の扱いがあり、今までにない発想が取り入れられている。 	<ul style="list-style-type: none"> 毛筆の学習では、3年から6年まで、「毛筆学習の進め方」が設けられ、書写学習における課題解決学習の進め方が具体的に示されており、毛筆の自習の仕方でも、「かご書き」「ほね書き」が示され児童が自主的に学ぶ視点が大切にされている。 「生活に生かそう」コーナーがあり、児童の興味関心を高める資料が多く充実している。 1年の硬筆の指導が3語の言葉を選択しているが、語の指導が軽く扱われている。 学年の発達段階に照らし、系統的、発展的な教材配列という点で課題がある。 半紙横長の扱いがあり、今までにない発想が取り入れられている。
<p>項目 \ 発行者</p> <p>目標や内容に即した教科書の特徴</p>	<p>17 教育出版</p> <ul style="list-style-type: none"> 硬筆毛筆指導(3年)の入門期の学習の扱いが、内容・指導事項などに写真を多く取り入れるなど、丁寧である。 学習のめあてが焦点化され、児童にわかりやすい。 6年生では共通課題に6文字、課題別選択教材では5文字の扱いがあり、文字数の多い題材が取り扱われている。 国語科や他の教科領域との関連が少ない。 「行書」が、5年生から発展的な扱いで取り上げられている。 	<p>38 光村図書</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本の文化として書写をとらえ、3年以上で系統的に取り上げている。毛筆指導に重点がおかれている。 毛筆は見開き2ページで扱い、指導事項もわかりやすく焦点化されている。 5・6年では学習内容を生かして、めあてを決めて書く内容が取り上げられている。 文字への興味・関心を高める資料が多いが、他教科領域等に学習を生かす視点が少ない。 硬筆指導では説明や文字の分量が多く、書写要素の具体的な指導の扱いが少ない。 	

項目\発行者	2 東京書籍	3 大阪書籍
1 範囲及び程度	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に示された内容が過不足なく取り上げられている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に示された内容が過不足なく取り上げられている。
2 選択・扱い 組織・分量	<ul style="list-style-type: none"> 学習の流れに沿って随所に「まなび方コーナー」が設けてあり、児童が問題解決的な学習方法を身につけるための工夫が見られる。 選択事例を示す「オキカエル」など、学習対象の選択に幅を持たせ、個に応じた指導が行いやすい工夫がある。 児童の学習活動の写真を多く載せ、児童の学習活動への興味、関心、意欲を喚起するような工夫が図られている。 3・4年では、昔のくらし(道具等)と先人の功績の一元元化により学習の深まりが期待できる単元構成である。 6年歴史学習では、単元導入時に時代を象徴する挿絵や資料を大きく紹介し、学習課題を持たせるような構成になっている。 全国地図を使った資料が多く、全国と自分の住む地域を比較しながら学習することができる。 地図指導については、学習に応じて系統的に各所に配置してあるが、丁寧な指導になりにくい面がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 巻頭に社会科の問題解決的な学習の進め方がわかりやすく示され、児童がどの単元を学習していても戻って確かめられるようになっている。 学び方の説明が記述してあり、児童が学習方法を身につけるための工夫が見られる。 見開きページの左上に学習課題、中に子どもの調べた内容、右下にまとめという構成だが、すでに調べ終わった児童のノートが紹介されており、調べ学習には不向きと思われる。 昔のくらしと先人の功績は、上・下巻に分けられており、児童の発達段階、空間的(地理)広がりでの発達から見ると、学習が進めやすい単元構成になっている。 地図指導の小単元が設けられており、丁寧に指導できる。 教科書の版を大きくすることによって、グラフや表を大きく掲載し、わかりやすく読みやすくするための工夫が見られる。
3 正確性、表記 ・表現等	<ul style="list-style-type: none"> 正確性、表記・表現は適切である。 	<ul style="list-style-type: none"> 正確性、表記・表現は適切である。
4 創意工夫	<ul style="list-style-type: none"> 折込みページ資料により、様々な視点から読みとれる工夫が見られる。 キャラクター(ドラえもん)が学習のアドバイスをし、児童が楽しく学習できるよう工夫されている。 6年の歴史学習では、地域へ目を向けさせ学習者の実態に合わせた発展的学習を促している。 	<ul style="list-style-type: none"> キャラクター(アトム)が学習のアドバイスをし、児童が楽しく学習できるよう工夫されている。 巻末に「大きくジャンプ」があり、発展的な学習が観.点別にまとめられている。 児童が書き込みをすることで設けられ主体的な学習を促す。
5 その他	<ul style="list-style-type: none"> 写真資料が鮮明である。 	<ul style="list-style-type: none"> AB判で大きい。見開きの資料は、大きく見やすくなり、全体的にゆとりのある紙面となっている。

項目\発行者	17 教育出版	38 光村図書
1 範囲及び程度	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領に示された内容が過不足なく取り上げられている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領に示された内容が過不足なく取り上げられている。
2 選択・扱い 組織・分量	<ul style="list-style-type: none"> ・「学習のてびき」のコーナーが随所に設けてあり、児童が学習方法を身につけるための工夫が見られる。 ・3・4年の「見直そうわたしたちのくらし」は、販売の仕事を消費者の立場で考えさせようことを意識して構成されている。 ・5年の農業生産の事例を多く取り上げ、学習対象の選択に幅を持たせている。 ・児童の調査や体験活動の写真を多く載せ、児童の学習活動への興味や意欲を喚起するよう工夫が図られている。 ・3・4年の昔のくらしと先人の功績は、一つの大単元にまとめられて、歴史的な見方の入門として適切であり、学習の深まりも期待できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭に「わくわくどきどき社会科って楽しいな」があり、問題解決的な学習の手順や調べ方、まとめ方が示してある。 ・3・4年の生産の事例は、食品（パン工場）であり、どの地域でも取り上げやすい。 ・昔のくらしと先人の功績は、上・下巻にわけられており、児童の発達段階、空間的（地理）広がりでの発達から見ると、学習が進めやすい単元構成になっている。 ・5年では、わが国の国土の学習から産業学習へ進めるような単元配列がなされているが、鳥取県の季節と合わない箇所が見られる。 ・写真資料や児童の学習活動の写真が少なくない。
3 正確性、表記 ・表現等	<ul style="list-style-type: none"> ・正確性、表記・表現は適切である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・正確性、表記・表現は適切である。
4 創意工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・キャラクターとしてコナンを採用し、児童にとって親しみやすい。 ・選択的な事例のところは、事例ごとにインデックス付きページとなっている。 ・「はってん」マークで、発展的な学習内容が取り上げられ、個に応じた指導への工夫が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「わたし」の考えを書き込むようになっており、主体的な学習を促すような工夫がなされており、学習ノートの活用もできる。 ・大単元の最後に「ひろば」が設定され、総合的な学習への広がりも期待できる。 ・発展的な学習については、巻末に若干設けられているだけで、個に応じた指導への工夫があまり見られない。
5 その他	<ul style="list-style-type: none"> ・文字の大きさや印刷など適切である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文字の大きさや印刷など適切である。

種目名 社会

項目\発行者	116 日本文教出版
1 範囲及び程度	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領に示された内容が過不足なく取り上げられている。
2 選択・扱い 組織・分量	<ul style="list-style-type: none"> ・「学び方教室」が要所に設けてあり、児童が学習方法を身につけるための工夫が見られる。 ・「調べたことから考えよう」を小単元の最後に設定し自己評価や様々な表現活動を紹介している。 ・3・4年の生産の事例は、農産加工（つけもの工場）で、県内での活用は地域的に限られる。 ・「ことばのまど」により語句の説明を明確している。 ・3・4年では、年中行事から昔の道具の学習への単元構成がなされ、単元の導入に工夫が見られる。 ・地図指導の小単元が設けられており、位置・等高線・縮尺など地図を見るための基本的事項が丁寧に指導できている。 ・児童の学習活動などの写真が少ない。 ・正確性、表記・表現は適切である。
3 正確性、表記 ・表現等	
4 創意工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・各単元に4観点の振り返りのコーナーが設けてあり、自己評価に活用できる。 ・発展的な学習のコーナー「もっと知りたい」を大単元の終末ごとに設け、個に応じた指導への工夫が見られる。
5 その他	<ul style="list-style-type: none"> ・全体に色遣いが多く、落ち着きのない感じがする。 ・写真が鮮明とは言えず、全体に見にくい。

<p>項目 \ 発行者</p> <p>目標や内容に即した教科書の特徴</p>	<p>2 東京書籍</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童が問題解決的な学習に取り組めるように「学習課題」を追究する流れが重視されている。 ・児童の発達段階、学習の流れに沿って、随所に「まなび方コーナー」が設けられ、児童が問題解決的な学習に必要な学習方法を系統的に身につけるための工夫が見られる。 ・選択事例を示す「オキカエル」など、個に応じた指導が工夫されている。 ・児童の学習活動の写真を多く載せ、児童の興味や意欲を喚起するような工夫が図られている。 ・資料の大きさ、配置などが工夫されており、内容も豊富で活用の幅が広い。 	<p>3 大阪書籍</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見開きのページに、1時間の「学習課題」と、児童のことばとして「答え」が示されてしまっており、児童の主体的な学習が妨げられる場合がある。 ・巻末に、発展的な学習のコーナー「大きくジャンプ」が観点別に整理して設けられ、個に応じた指導が工夫されている。 ・HPアドレスを掲載し、児童の調べ学習に役立つような工夫が図られている。 ・大判で資料が大きく、児童にとってわかりやすく読み取りやすい。 ・一つ一つの資料は大きくインパクトはあるが、資料数が少なく活用しにくい。 	<p>17 教育出版</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学びの手びき」のコーナー、発展的な学習のコーナーが随所に設けられ、人気アニメのキャラクター「コナン」が、学び方や発展的な学習の方法を示しており、児童にとって親しみやすい問題解決的な学習活動への意欲づけを図っている。 ・児童の調査や体験活動の写真を多く掲載し、児童の学習活動への興味や意欲を喚起するような工夫が図られている。 ・6年では、「地域で調べよう」のコーナーが設けられ、フィールドワークや地域課題の動機づけを図り、児童の意欲を喚起している。 ・選択的事例では、各事例がインデックス付きページとなっており、活用しやすい。
<p>項目 \ 発行者</p> <p>目標や内容に即した教科書の特徴</p>	<p>3.8 光村図書</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どの学年でも巻頭に「わくわくどきどき社会科って楽しいな」のページがあり、問題解決的な学習の手順や調べ方、まとめ方が示してある。 ・「わたし」の考えを書き込むようになり、主体的な学習を促すような工夫がなされており、学習ノートの活用も図れる。 ・発展的な学習のコーナー「ひろげるふかめる」が巻末に設けられ、個に応じた指導への工夫が見られる。 ・写真資料が全体として少なく、文字による説明資料が多い。また児童の活動の様子の写真が少ない。 	<p>116 日本文教出版</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学び方教室」を要所に設定し、児童が学習方法を身につけるための工夫が図られている。 ・「調べたことから考えよう」を小単元の最後に設定し、自己評価やさまざまな表現活動を紹介している。 ・「ことばの窓」や書き込みコーナーが要所に設けてあり、児童の理解や表現活動に役立つような工夫が見られる。 ・児童の学習活動の写真が少なく、児童にとって活動へのイメージがもちにくくい。 ・写真が鮮明でないものが多い。 	

種目名 地図

No. 1 / 1

項目	発行者	2 東京書籍	46 帝国書院
1	範囲及び程度	<ul style="list-style-type: none"> 各学年の学習領域に忠じた内容が取り上げられている。 巻頭見開きから子どもの興味を引く構成になっている。ただ使い始める4年生のスタート時にはやや高度である。 5年相当の資料には同学年で学習する円グラフを用いており、使用時期によってはやや難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 各学年の学習領域に忠じた内容が取り上げられている。 巻頭導入部分は、手にとった子どもたちも一人でも活用できる発達段階を考慮した平易さが見られる。 ⇒を用いた資料は、学年を問わず利用可能である。
2	選択・扱い 組織・分量	<ul style="list-style-type: none"> 冒頭の「地図にチャレンジ」は系統性ある地図指導が行いやすいが、やや高度。主題図の読み取りとしてはよく、資料的価値があり教科書を補充補充している。 日本三庭園、三景を写真等で表記し発展を意識している。 「まわりの国と地域」は教科書との連動を特に示している。 見開き4ページでは南北列島日本のほぼ全景が掌握できる。 索引項目が2200と多く、「日本の遺跡」などの分類がなされている。 	<ul style="list-style-type: none"> 冒頭の「絵地図を使って道案内」は、3年時の履修内容を踏まえ、地図帳の読み方、使い方を無理なく習得できる工夫がある。 地図としての情報が多い。巻末の資料の部が充実している。 各ページに凡例があり、見開きでの利用がしやすい。 土地利用図を基本とした地図編集となっている。 発展につながる『アメリカとその関わり』が特設されている。 アジアを中心に国旗の数が多く掲載されている。 世界地図においてミラー、ランベルト、正積方位図法等の標記がある。 各ページに資料図が豊富で、地域の特徴がわかりやすくつかめる。
3	正確性、表記・表現等	<ul style="list-style-type: none"> 淡い色合いの等高線段彩を用いている。細かい段階の違いがややわかりにくい。 史跡の表示が見やすく、みつけやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> 教科書と同じ字体の文字を使用している。 貴重な動植物がよくわかるように赤枠表示がしてある。
4	創意工夫	<ul style="list-style-type: none"> 同社の教科書と連動した構成となっている。 特色ある日本の国土、産業を鳥瞰図(ちょうかんず)・写真としてシリーズ(テーマ)的に配している。 各ページとも外枠を取っており、緯線、経線、ブロック番号が見やすくになっている。 縮尺はcmものさしに統一され、見やすくしてある。 	<ul style="list-style-type: none"> 冒頭の「地図帳で遊ぼう」などは、児童の実態を分析して、子どもを飽かさず引き込む工夫がされている。 地図帳に直接記入するワークシートの使い方を導入している。 巻頭からの冒頭部分に地図学習へ導く一貫性が感じられる。 縮尺は、発達段階を考慮して、前半部分では、わかりやすい「かんたんものさし」を使って理解を助けている。
5	その他	<ul style="list-style-type: none"> 表紙は厚くしつかりしている。紙質が厚い。 索引はフォントサイズも大きく、ゴシックがかかっており見やすいが、最初の部分が見開きになっているため引きにくい。 吹き出しの配置がすっきりとされていて見やすい。 世界地図では、球体の地球を意識した体裁を取っている。 各ページに写真が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 表紙がビニールコーティング風であり丈夫である。 各ページにキャラクターが多く登場し、落ち着かない印象を受ける。 他教科等の利用も考えて表紙に社会科の文字がない。 絵や図による説明が多い。

項目 \ 発行者	2 東京書籍	46 帝国書院
目標や内容に即した教科書の特徴	<ul style="list-style-type: none"> 同社の教科書と連動した構成である。 前半部分にまとめて主題図の読み取りのページを数ページを設定しており、資料的価値があり、教科書を補充している。 地域図のページは、地図の色合いがやさしく落ち着いた感じがし、地名等の文字が読みやすく、特に歴史学習に関連する場所の表示などもわかりやすい。このため地図を読み取る学習に活用しやすい構成となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 土地利用図を基本とした地図編集となっている。 地図学習へ導く一貫性がみられるとともに、発達段階を考慮した平易さがみられ、子どもたちが一人でも活用できる配慮がみられる。 各ページには、豊富な地域資料があり、地域の特徴がとらえやすい。 また、地図の中に道路、航路、特産物などの多くの情報が示されている。紙に光沢があり、キャラクターが多いため、やや見づらく感じる面があるが、幅広く調べ学習などに活用しやすい。 国際理解や環境保全についての内容が充実している。

項目	発行者	2 東京書籍	3 大阪書籍
1	範囲及び程度	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領の趣旨に沿っており、児童の発達段階に応じた配慮がなされている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領の趣旨に沿っており、児童の発達段階に応じた配慮がなされている。
2	選択・扱い 組織・分量	<ul style="list-style-type: none"> 単元の導入部分では、見開きの2ページを使い、左側のページには既習事項が記載されており、学習内容の関連が図れるよう工夫されている。 発展的な学習内容が、第3学年以上の巻末の「おもしろ問題にチャレンジ」としてまとめられていることにより、当該学年の学習内容が明確になっている。 解決のための方法を解決にいたるまで丁寧に示しており、いろいろな考え方が「友達の考え方」の形で例示されている。 学習したことまとめの例として、新聞づくりを示している。 	<ul style="list-style-type: none"> 算数に対する児童の興味・関心を高めるために、「算数探検のコーナー」の中で一筆書きなど様々な話題をとり上げている。 単元末のたしかめの後に「自分でえらんで」のコーナーがあり、「ふりかえろう」「とりくんでみよう」の2コースが設定されており、児童の習熟の程度に応じて補充的な学習と発展的な学習を選ぶことができるようになっている。 単元の導入部分では、内容に応じて半ページ～1ページの写真を用いて学習内容に対する興味・関心を高めようとしている。 吹き出しの形で考え方のヒントを示したり、解決の重要なポイントとなる考え方を友達の考え方として示している。 「くらしと算数」コーナーを設け、点字と算数の関わりなどを説明することによって算数と生活との関わりをわかりやすく説明しようとしている。
3	正確性、表記 ・表現等	<ul style="list-style-type: none"> 表記等は適切である。 	<ul style="list-style-type: none"> 表記等は適切である。
4	創意工夫	<ul style="list-style-type: none"> 第3学年以上の最初の単元に学びの記録として、ノート作りの参考となるような見本や、良いノートのポイント、学習のまとめの感想が1ページを使って示されている。 「ものしりコーナー」や第3学年以上の巻末の「おもしろ問題にチャレンジ」で発展的な取り扱いができるように工夫されている。また、解答も示されており、自学自習できるように工夫されている。 練習問題にゲーム的な要素を取り入れ、学習への意欲づけを図っている。 「算数卒業旅行」の中で、五つのコースを設定して算数に関わる幅広い話題にふれており、算数への興味・関心を高める工夫がなされている。 	<ul style="list-style-type: none"> 第3学年以上の各学年の上巻の冒頭に「学習の進め方」が示されており、また、学習後の学習内容の振り返りの参考として、学習のまとめ方が示されている。 基礎的な計算練習を繰り返しできるように「きほんのたしかめ」という切り離して使える冊子の形にしている。 「自分でえらんで」のコーナーの前には、自分で選んで進もうというわかりやすい案内表示がある。 練習問題の一部及び発展問題について、その解答が示されており、自学自習できるよう工夫されている。 「算数テーマパーク」(6年下)や「くらしと算数」で地球温暖化等、身近な問題を取り上げ、算数への興味・関心を高める工夫がなされている。
5	その他	<ul style="list-style-type: none"> 図版の印刷など適切である。 	<ul style="list-style-type: none"> 図版の印刷など適切である。

項目	発行者	4 大日本図書	11 学校図書
1	範囲及び程度	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領の趣旨に沿っており、児童の発達段階に応じた配慮がなされている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領の趣旨に沿っており、児童の発達段階に応じた配慮がなされている。
2	選択・扱い 組織・分量	<ul style="list-style-type: none"> 発展的な学習を各単元末に配置し、単元の学習との関連のもとに、学習者の状況に応じて学習できるようになっている。 解き方の工夫や考え方のまとめについては、取り扱いの工夫ができるように、表現が簡潔である。 目次のページには、発展的な学習の取り扱い方がわかりやすく明記されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 算数の興味・関心を高めるため、円周率の歴史などの歴史的な事柄を幅広く取り入れる工夫がなされている。 発展的な学習を単元末や「算数アカルト」として巻末に掲載することで発展的な学習の仕方が工夫できるようにしている。 既習の学習内容が「思い出してみよう」として掲載されており、既習事項との関連を図る工夫がなされている。また、目次に既習事項との関連が示されている。 考え方のヒントや解決のためのいくつかの例を友達の考え方として、丁寧を示している。
3	正確性、表記 ・表現等	<ul style="list-style-type: none"> 表記等は適切である。 	<ul style="list-style-type: none"> 表記等は適切である。
4	創意工夫	<ul style="list-style-type: none"> 各学年の最初の2単元末に、「ノートにまとめよう」があり、学びの記録としてのノートのポイントが示されている。 「わくわく算数テーマパーク」(6年下)で算数の楽しさにふれることができるよう様々な話題を取り上げている。また、解答も示されており、自学自習ができるよう工夫されている。 吹き出しの形で考え方のヒントを示したり、解決の重要なポイントとなる考え方を友達の考え方として示したりしている。 ワークシート形式で教科書に書き込みをしながら学習できるよう工夫されている。 巻末の算数ランドで、算数の興味・関心を高めるために、ごみや二酸化炭素などの環境にかかわる事柄などを幅広く取り入れるなどの工夫がなされている。 	<ul style="list-style-type: none"> 第3学年以上の学年では、練習問題の解答が示しており、学習者が自身の状況に応じて学習できるよう工夫されている。 単元末の「力だめし」の終了後には、学習者の状況に応じて学習者自身が学習内容を選択できるよう工夫されている。 単元ごとに、基礎・基本となる練習問題が載せてある。つまり、いた時は、振りカエルマークで振り返って考えることができる。また、解答も載せてあり、自学自習ができる。 ワークシート形式で教科書に書き込みをしながら学習できるよう工夫している。
5	その他	<ul style="list-style-type: none"> 図版の印刷など適切である。 	<ul style="list-style-type: none"> 図版の印刷など適切である。

項目	発行者	1 7 教育出版	6 1 新興出版社啓林館
1	範囲及び程度	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領の趣旨に沿っており、児童の発達段階に応じた配慮がなされている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領の趣旨に沿っており、児童の発達段階に応じた配慮がなされている。
2	選択・扱い 組織・分量	<ul style="list-style-type: none"> パワーアップ練習のページが設けてあり、基礎・基本の定着に向けた練習ができるよう工夫されている。 「わくわくチャレンジ」「わくわくチャレンジはってん」「算数ワールド」など発展的な学習の進め方が工夫されている。 解決の元になる見方や考え方がヒントの形で提示されたり、具体的な解き方が例示されたりしており、児童の習熟の程度に応じて活用できるようにしている。 「算数ワールド」では、生活との関連、問題の考え方などが示されている。巻末のパズルランドで、数のおもしろさ、不思議さに気づかせようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 算数への興味・関心を高めたり、生活との関連を紹介したりする内容が位置づけられている。 導入に、生活場面等の身近なものや既習事項を教材として配置し、生活と学習内容との関連性を重視したつくりとなっている。 単元末に「ステップ」と「ジャンプ」がセットで掲載されており、習熟の程度に応じて補充・発展のコースが選択できるよう工夫されている。 発達段階を考慮して、児童の写真が多く使われており親しみやすくしている。
3	正確性、表記 ・表現等	<ul style="list-style-type: none"> 表記等は適切である。 	<ul style="list-style-type: none"> 表記等は適切である。
4	創意工夫	<ul style="list-style-type: none"> 上巻の巻末に「ふり返りノート」として学習状況を振り返るための観点や友達の考えを参考にするなどの方法を示して、自己評価ができるように工夫されている。 「算数ワールド」に様々な話題を取り上げ、算数への興味・関心を高めたり、生活との関連を図っている。 単元の導入には、学習内容に関わる話題を1ページ単独で示す形で、学習内容に対する児童の興味・関心を高めることができるよう工夫されている。 キャラクターより、友達によるヒントの提示が多く、対話型のヒントも取り入れられている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各学年の最初の単元末に学習状況の振り返り方として、観点を提示し、学習の感想を書く形で例示している。 学習内容を確認する「たしかめ道場」では、間違ったり困ったりしたときに参考にすべき部分が示してあり、また解答が示されてある。 練習問題の中に、ゲーム的な要素を取り入れている。 解決の元になる見方や考え方がヒントの形で提示されており、児童がしつかりと考えることができるよう工夫されている。 大きな写真などを使った導入により、児童の興味・関心を引きつけるよう工夫している。
5	その他	<ul style="list-style-type: none"> 図版の印刷など適切である。 	<ul style="list-style-type: none"> 図版の印刷など適切である。

項目 \ 発行者	2 東京書籍	3 大阪書籍	4 大日本図書
目標や内容に即した教科書の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・指導内容は、学習指導要領に即し、児童の発達段階に応じた配慮がなされている、分量も適切である。 ・目次及び導入部分を工夫し、既習事項が記載されており、学習内容の関連が図れるよう工夫されている。 ・各学年の各冊子の最初の単元に学びの記録として、ノート作りの参考となるような見本や、良いノートのポイント、学習のまとめの感想が1ページを使って示されている。 ・日常生活との関連を図っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導内容は、学習指導要領に即し、児童の発達段階に応じた配慮がなされている、分量も適切である。 ・第3学年以上の各学年の上巻の冒頭に「学習の進め方」が示しており、また、学習後の学習内容の振り返りの参考として、学習のまとめ方が示されており、学校での学習の参考となる。 ・基礎的な計算練習を繰り返しできるように「きほんのたしかめ」という切り離して使える冊子の形にしている。 ・日常生活との関連を図っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導内容は、学習指導要領に即し、児童の発達段階に応じた配慮がなされている、分量も適切である。 ・既習の学習内容をすでに学習した教科書の実際のページを縮小して掲載しており、既習事項との関連を図る工夫がなされている。 ・解き方の工夫や考え方のまとめについて取り扱いの工夫ができるように、表現が簡潔である。 ・日常生活との関連を図っている。
項目 \ 発行者	1 1 学校図書	1 7 教育出版	6 1 新興出版社啓林館
目標や内容に即した教科書の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・指導内容は、学習指導要領に即し、児童の発達段階に応じた配慮がなされている、分量も適切である。 ・考え方のヒントや解決のためいくつかの例を友達の考え方として、丁寧に示している。 ・単元の導入部分は、見開きになっており、見通しを持って学習できるよう工夫されている。 ・日常生活との関連を図っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導内容は、学習指導要領に即し、児童の発達段階に応じた配慮がなされている、分量も適切である。 ・上巻の巻末に「ふり返しノート」として学習状況を振り返るための観点や友達のことを参考にするなどの方法を示すなどして、自己評価できるように工夫されている。 ・算数ワールドでは、日常生活との関連、学習内容を複合させて考える場面などが示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導内容は、学習指導要領に即し、児童の発達段階に応じた配慮がなされている、分量も適切である。 ・解決の元になる見方や考え方がヒントの形で提示されており、児童がしっかりと考えることができるよう工夫されている ・表紙、練習問題の中に、ゲーム的な要素を取り入れている。 ・日常生活との関連を図っている

項目	発行者	2 東京書籍	4 大日本図書
1	範囲及び程度	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に示されている内容は、各学年とも適切に取り扱われている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に示されている内容は、各学年とも適切に取り扱われている。
2	選択・扱い 組織・分量	<ul style="list-style-type: none"> 写真、挿絵、図等が鮮明で、わかりやすく、基礎的事項を押さえている。 4年生以上の発展的な学習内容のページ「とびだせ」では、いくつかの内容を集めて表記し、その中で選択的に学習ができるようにされている。 ものづくりを大切に編集がなされており、作品例も児童の意欲を高めるための具体例が示されている。 観察・実験の手順が示されており、児童にわかりやすく、イラストでの説明が多い。 写真や図等のレイアウトは見やすいが、説明の文字が詰まっている部分がある。 自己評価マークがあり、同時に振り返りのページがあり、学習内容の理解を確実にする工夫がされている。 裏表紙に目次があり、年間の学習の見通しをもちやすい。 日常生活との関連を図る内容が豊富である。 配色に工夫がなされており、見やすくなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 高学年の発展的な学習内容の扱いにおいて読み物資料が多く、観察・実験的な内容が少ない。 写真や挿絵が多く用いられ、視覚的に児童の興味を引くような配慮が見られる。 単元によって、写真の大きさや撮影内容に差があり、学習内容との関連性が弱いものがある。 児童の生活経験を想定した単元の導入が図られている。 文字の強弱が弱く、重要な部分とそうでない部分との区別がはっきりしにくい。
3	正確性・表記	<ul style="list-style-type: none"> 児童が理解しやすい適切な表現が使われており、用語、図、グラフ等の表記も適切である。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童が理解しやすい適切な表現が使われており、用語、図、グラフ等の表記も適切である。
4	創意工夫	<ul style="list-style-type: none"> キャラクターが観察・実験の方向付けを助ける言葉かけを行うように工夫されている。 3・4年生では綴じ込み教材を付録とし、磁石や星座の学習をスムーズに行うための工夫がされている。 発展の内容が豊富で、また明確に示されており、児童が自分にあつたものを選んで学習できるようにしている。 4年では、加熱器具をまとめて紹介しており学習環境に応じた選択できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 折り込みページが、いくつかの単元の中で効果的に配置されている。 透明シート、ものづくり付録がついており、楽しみながら学習を進められるようになっている。 「天気の変化」(5年)で情報収集の仕方が児童にわかりやすく工夫されている。 どの学年の教科書もくどうなおこさんの「詩教材」からスタートし、感じる理科学習への橋渡しがされている。
5	その他	<ul style="list-style-type: none"> 児童の使用に耐え得るように製本されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 文字の大きさ、字間、行間が適切である。 児童の使用に耐え得るように製本されている。

項目	発行者	11 学校図書	17 教育出版
1	範囲及び程度	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に示されている内容は、各学年とも適切に取り扱われている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に示されている内容は、各学年とも適切に取り扱われている。
2	選択・扱い 組織・分量	<ul style="list-style-type: none"> 写真や挿絵が多く用いられ、視覚的に児童の興味を引くような配慮が見られ、基礎的事項を押さえている。 観察・実験の課題とその結果が同一ページに表記されている部分があり、児童の思考の流れを妨げるおそれがある。 児童の思考の流れに沿う単元構成がしてある。 課題を明確に意識できる写真が使われており、大きさや連続性などに配慮されている。 安全面での配慮がわかりやすい。 子どもイラストを多く描き、単元の流れの推進役として活用しているが、児童の自由な発想を妨げるおそれがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 身近にある材料を活用して、実験道具を製作し学習に生かそうとしている。 調べ方や学習の進め方が示してあり、主体的な学習を行うことができる。 イラストやキャラクターの会話を単元の流れとして活用し、児童にとって見通しの持てる単元構成がなされている。
3	正確性・表記 ・表現等	<ul style="list-style-type: none"> 児童が理解しやすい適切な表現が使われており、用語、図、グラフ等の表記も適切である。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童が理解しやすい適切な表現が使われており、用語、図、グラフ等の表記も適切である。
4	創意工夫	<ul style="list-style-type: none"> 書き込み部分が設定されており、ワークシートの使い方ができるような工夫がなされている。 拡大した写真が鮮明で、観察、実験への期待や意欲を持たせる工夫が随所になされている。 発展の内容が、写真やイラストで興味を引くように工夫されている単元や学年もあるが、中にはそのねらいが明確でない単元や学年もある。 スタートページの見開きと中程には「詩教材」が掲載されており、感性に働きかける理科学習への配慮がなされている。 裏表紙に目次があり、年間の学習の見通しをすぐにもてる。また、写真とイラストを組み合わせ、楽しいレイアウトになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 登場するキャラクターが学年ごとの理科的な視点（比較、原因と結果、継続的な観察、多面的な物の見方）で観察・実験することを呼びかけるように表現が工夫されている。 厚紙台紙や学習シールなどの巻末添付による効果的な学習活動の支援がなされている。 キーボードを使つたまとめ方の工夫がなされている。 日常生活との関連を図るための内容が明確に示されている。 発展の内容が明確に示されていてわかりやすい。 「天気の変化」（5年）でインターネットの活用が図りやすい。
5	その他	<ul style="list-style-type: none"> 少ないページ構成の中に多くの内容を盛り込んでいるため、全体的に文字サイズが小さく、文字量が多い。 児童の使用に耐え得るように製本されている 紙の質がよく、写真や挿絵が鮮明で児童の興味をかき立てるが、原色が多い配色になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 文字の大きさ、字間、行間が適切である。 児童の使用に耐え得るように製本されている。 体の中の様子の絵はわかりやすいが、「6年生の児童の実際の大きさ」と明記されているとなおよい。

項目	発行者	26 信濃教育会出版部	61 新興出版社啓林館
1	範囲及び程度	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に示されている内容は、各学年とも適切に取り扱われている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に示されている内容は、各学年とも適切に取り扱われている。
2	選択・扱い 組織・分量	<ul style="list-style-type: none"> 自然条件を考えると、鳥取県に適さない教材が多い。 ものづくりや発展的な学習の内容に、児童の意欲を高めるような工夫が乏しい。 観察・実験の示し方とそのまま方とが同ページに記載されているところがかかなりあり、観察・実験の方法を考える段階で多様な考え方が出にくい面がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 鮮明な写真が多く載せてあり、児童の興味や科学的な見方が広がるように工夫されている。 「電気のはたらき」(4年上)は光電池を先に扱い、並列、直列の回路の学習が抵抗なく導入できるように工夫されている。 単元導入部の写真にインパクトのあるものを配置し、児童の意欲をかき立てるようにしている。 身近な素材を使ったものづくりを取り上げ、児童の活動が広がりがやすい。 児童の生活経験を想定した単元の導入が図られている。 挿絵の中に、車いすに乗った児童が描かれており、人権を教科書づくりの視点に取り入れている。 環境教育との関連が、児童の興味を引く形で示されており、思考が広がりやすい。
3	正確性・表記 ・表現等	<ul style="list-style-type: none"> 児童が理解しやすい適切な表現が使われており、用語、図、グラフ等の表記も適切である。 	<ul style="list-style-type: none"> 言葉を選し、児童にわかりやすい表現になっている。 児童が理解しやすい適切な表現が使われており、用語、図、グラフ等の表記も適切である。
4	創意工夫	<ul style="list-style-type: none"> 写真や挿絵、図等が最小限にとどめられていて、表記はすっきりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各学年とも、観察・実験カード、星座カード、天気シール、人体シートなどの綴じ込み教材があり、実習を通して、楽しみながら学習が進められる。 児童の生活と関連した身近な素材が取り上げられている。 「天気の変化」(5年)でインターネットの活用例がわかりやすく紹介されている。 発展の内容がわかりやすく、児童の興味を引く表記である。 折り込みページと学習の流れとがうまく関連付けられている。
5	その他	<ul style="list-style-type: none"> 写真がページにより鮮明さ等に差がある。 文字の大きさ、字間、行間が適切である。 児童の使用に耐え得るように製本されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 文字の大きさ、字間、行間が適切である。 児童の使用に耐え得るように製本されている。

項目\発行者	2 東京書籍	4 大日本図書	1 1 学校図書
目標や内容に即した教科書の特徴	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に示された内容は、適切に取り扱われている。 文書表現は、児童の発達段階にあったわかりやすい書き方としてあり、用語、図等の表記も適切である。 写真、挿絵、図等が鮮明でわかりやすい。 ものづくりを大切にしたい編集がなされておる作品例が多様で児童の科学的な思考を誘発する内容になっている。 写真やレイアウトは見やすいが、説明の文字の字間がせまくて、読みにくい部分がある。 4年生以上の発展的な学習内容は、いくつかの内容を集めて表記し、その中で選択的に学習ができるよう工夫されている。 自己評価マーカーがあり、同時に振り返りのページが設けられていて、学習内容の理解を確実にする工夫がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に示された内容は、適切に取り扱われている。 観察、実験の写真、挿絵、図が豊富でわかりやすい。 単元によって、写真の大きさや撮影内容に差があり、学習内容との関連性が弱いものがある。 高学年の発展的な学習内容の扱いは読み物資料が多く、観察・実験的な内容が少ない。 折り込みページが、いくつかの単元の中で効果的に配置されている。 透明シート、ものづくり付録がついており、楽しみながら学習を進められるようになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に示された内容は、適切に取り扱われている。 拡大した写真が鮮明で、観察、実験への期待や意欲を持たせる工夫が随所に感じられるが、原色が多い配色になっている。 写真や図等のレイアウトは見やすいが、説明の文字の字間がせまくて、読みにくい部分がある。 子どものイラストを多く描き、単元の流れの推進役として活用しているが、児童の自由な発想を妨げるおそれがある。 観察実験の課題とその結果が同一ページに表記されていることがあり、児童の思考の流れを妨げるおそれがある。 書き込み部分が設定されており、ワークシートの使い方ができている。
項目/発行者	1 7 教育出版	2 6 信濃教育会出版部	6 1 新興出版社啓林館
目標や内容に即した教科書の特徴	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に示された内容は、適切に取り扱われている。 日常生活との関連を図るための内容が明確に示されている。 調べ方や学習の進め方が示してあり、主体的な学習が行える。 イラストの男女の会話を単元の流れとして活用し、見通しが持てる児童サイイドの単元構成がなされている。 厚紙台紙や学習シールなどの巻末添付による効果的な学習活動の支援がなされている。 登場するキャラクターが学年ごとの理科学的な視点(比較、原因と結果、継続的な観察、多面的な物の見方)で観察実験することを呼びかけるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に示された内容は、適切に取り扱われている。 観察実験の課題とその結果が同一ページに表記されているおそれがある。 自然条件を考えると、鳥取県に適さない教材が多い。 写真や挿絵、図等が最小限にとどめられていて、表記がすっきりしている。 ものづくりや発展的な学習の内容に、児童の意欲を高めるような工夫がほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に示された内容は、適切に取り扱われている。 鮮明な写真が多く載せてあり、児童の興味や科学的な見方が広がるように工夫されている。 環境教育との関連が、児童の興味を引く形で示されており、思考が広がりやすい。 発展の内容がわかりやすく、児童の興味を引くように表記されている。 挿絵の中に、単いすに乗った児童が描かれており、人権の視点を取り入れた教科書づくりになっている。 各学年とも、実験観察カード、星座カード、天気シール、人体シートなどの綴じ込み教材があり、実習を通して、楽しみながら学習が進められるような配慮がある。

項目	発行者	2 東京書籍	3 大阪書籍
1	範囲及び程度	<ul style="list-style-type: none"> 生活科の8つの内容が、上・下巻の教科書の中に過不足なく盛り込まれている。 上巻が1学年、下巻が2学年の内容で構成され、1年を通して教科書の流れに沿って、生活科の学習が進められるように編集されている。 活動の後に、児童が情報交換したり、他の人たちに伝えたりする活動がどの単元にも盛り込まれている。 季節の変化などの資料が豊富で、順をおって見やすくなっており、児童の気づきを大切にしている。 児童の体験活動例やその後の表現活動例がたくさんあり、活動の際のヒントになる。 活動する際の安全面やマナーに関するやくそくがきちんと示されており、活動する際の意識付けに役立つ。 児童の使うワークシートが、発達段階や単元によって工夫されている。 目次が人とかかわりでの工夫してあるが、見にくい。 誤りや不正確な記述は見られない。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に示されている内容が、適切に記述してある。 町探検が季節ごとにまとめられているが、人とのふれあいも大事にした単元構成になっている。 人権・福祉・環境・国際理解、情報教育を通して、児童の問題意識が芽生えるように配慮してある。 季節の行事についての記載がない。 上巻が1学年の夏まで、下巻が1学年の秋からの内容になっている。弾力的に指導計画を立てることができている。 上巻「みんなであそぼう」の土や草花など自然を使った遊びの活動の中に、シャボン玉遊びや空き容器を使っている水遊びが記載されているが、少しねらいからははずれる。 児童の作品例（ワークシート）が白紙のものや野線のないものが多い、実際の場面では使いにくい。 誤りや不正確な記述は見られない。
2	選択・扱い 組織・分量	<ul style="list-style-type: none"> 児童の興味・関心を一層深めるために「チャレンジ」のコーナーを設け、個別指導ができるような配慮がある。 「べんりてちょう」を活用し、学習の方法がわかるようになっている。 巻末にポケット図鑑があり、切り離して探検のときに持ち歩けるようになっている。 表紙裏のイラストは、子どもたちにとって親しみがあるが、描かれている内容が自分たちとの生活と少し開きがある。 見開きがなく、小さいページがあり、児童にとってもわかりやすいようになっている。 教科書が大判になり、写真、絵等が大きくなっていて臨場感がある。 表紙の絵が、1学年と2学年での生活科の活動空間の広がりを表している。 	<ul style="list-style-type: none"> 町探検が季節ごとにまとめられているが、人とのふれあいも大事にした単元構成になっている。 人権・福祉・環境・国際理解、情報教育を通して、児童の問題意識が芽生えるように配慮してある。 季節の行事についての記載がない。 上巻が1学年の夏まで、下巻が1学年の秋からの内容になっている。弾力的に指導計画を立てることができている。 上巻「みんなであそぼう」の土や草花など自然を使った遊びの活動の中に、シャボン玉遊びや空き容器を使っている水遊びが記載されているが、少しねらいからははずれる。 児童の作品例（ワークシート）が白紙のものや野線のないものが多い、実際の場面では使いにくい。 誤りや不正確な記述は見られない。
3	正確性、表記 ・表現等	<ul style="list-style-type: none"> 誤りや不正確な記述は見られない。 	<ul style="list-style-type: none"> 誤りや不正確な記述は見られない。
4	創意工夫	<ul style="list-style-type: none"> 児童の興味・関心を一層深めるために「チャレンジ」のコーナーを設け、個別指導ができるような配慮がある。 「べんりてちょう」を活用し、学習の方法がわかるようになっている。 巻末にポケット図鑑があり、切り離して探検のときに持ち歩けるようになっている。 表紙裏のイラストは、子どもたちにとって親しみがあるが、描かれている内容が自分たちとの生活と少し開きがある。 見開きがなく、小さいページがあり、児童にとってもわかりやすいようになっている。 教科書が大判になり、写真、絵等が大きくなっていて臨場感がある。 表紙の絵が、1学年と2学年での生活科の活動空間の広がりを表している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「わくわくずかん」「まなびかたハンドブック」など、児童の活動を支援している。 町探検の中で、四季の変化によって生活の様子が変わることによって気付けさせるような作品例が載っている。 キャラクターが活動の観点や健康・安全面を語りかけるようにしていることで、興味・関心が高まる。 大事なポイントがキャラクターによって示されている。 「もっとチャレンジ」などの内容が児童が児童にはやや高度である。
5	その他	<ul style="list-style-type: none"> 教科書が大判になり、写真、絵等が大きくなっていて臨場感がある。 表紙の絵が、1学年と2学年での生活科の活動空間の広がりを表している。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童の表情をよく捉えた写真が活用してあり、活動が広がるようになっている。 明るい色が使っているため、見やすくわかりやすい紙面である。 教科書が大判になっている。

項目	発行者	4 大日本図書	11 学校図書
1	範囲及び程度	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に示されている内容は記述してあるが、家庭生活に関する内容が正月に関する内容のみになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 生活科の8つの内容が、上・下巻の教科書の中に過不足なく盛り込まれている。
2	選択・扱い 組織・分量	<ul style="list-style-type: none"> 教科書が楽しくなるようにイラストに工夫があり、活動を中心にしながら、気づきを深めていく過程を大切にしている。 公共物・公共施設についての扱いがやや弱い。 町探検では外国の人・高齢者・障害者の方との交流の写真もあるが、探検したことを紹介し合う場面の活動例がやや少ない。 国際理解教育、情報、福祉等の視点で、身近な人とのかわりの中からも気づきが深まるように配慮してある。 単元名やキャラクターの言葉等が児童の思考・発想に沿った表現である。 廃材を使った遊びについての記載が少ない。 飼育、栽培などの資料が豊富であり、活動するときに必要なことに気づかせる表記がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 上・下巻とも、遊びに関する内容が多く記載されている。 8つの内容は盛り込まれているが、身の回りの自然や廃材を使って遊びを工夫するという内容に重点が置かれている。 町探検の発表会などの表現活動の例がやや少なく、掲示物が中心になっている。 季節のマークを付け、季節に対する意識化を図っている。 町の福祉に目を向けさせるような内容も盛り込まれているので、体験を通して気づくことができる。 季節ごとの各地の行事がいくつか記載され、参考になる。 上・下巻とも活動が5つの大単元で構成され、それぞれの活動を通して付けた力がいっしょに、地域の実態に応じて弾力的な計画ができるようになっている。 児童の作品の表現が高度すぎる。 自分の成長を振り返り返る単元で、できるようになったことについてはあまり取り上げられていない。
3	正確性、表記 ・表現等	<ul style="list-style-type: none"> 誤りや不正確な記述は見られない。 	<ul style="list-style-type: none"> 誤りや不正確な記述は見られない。
4	創意工夫	<ul style="list-style-type: none"> 半透明の挿絵を重ねて提示したり、ページを切り取ってビンゴゲームをしたり、ページに切り込みを入れるなど子どもの興味や関心を高める効果がある。 児童の思考が深まるように「もつと」というコーナーが設けられている。 巻末に道具の使い方、人に伝える方法等の学習のスキルがあって活動の参考になる。 	<ul style="list-style-type: none"> 「ものしりノート」「チャレンジずかん」など資料が充実しているもので、児童が主体的に活動できる。 「スキップマーク」で次の活動に関連づけている。 上巻に扉のページが工夫され、児童の生活科に対する興味・関心を喚起させる。 大単元ごとにカラーインデックスが活用されている。
6	その他	<ul style="list-style-type: none"> 小さな文字での説明が多く、1年生には負担が大きい。 	

項目	発行者	17 教育出版	26 信濃教育会出版部
1	範囲及び程度	<ul style="list-style-type: none"> 生活科の8つの内容が、上・下巻の教科書の中に過不足なく盛り込まれている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に示されている内容は、記述してある。
2	選択・扱い 組織・分量	<ul style="list-style-type: none"> 町探検では、さまざまな仕事を当てた活動と公共の施設や福祉などに焦点を当てた活動に分けて記載されており、視点を絞った活動をさせるときの参考になる。 児童の発達段階に沿って、無理なく学習活動が深まるような構成がしてある。 上巻は対象とのかかわり、気付きを促す活動が多く、下巻は注意深く見る、比較する等活動を通して気付きを促すような例示がある。 各ページのレイアウトがうまく、見やすい。 どのページも見開き2ページで一つの活動が示されていて、左上に活動名が書かれているので、わかりやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> 自然豊かな特定の地域を舞台にして作られている。そのため、山・川など自然の風景も限定されたものになっている。 教科書の中で児童が見つけてくる自然も霜柱・福寿草・ふきのとうなど特定の地域でしか見られないものが多い。 アイガモとだいちについて、それぞれがひとつの単元として総合学習的な流れで全体の4分の1も使って詳しく取り上げているが、特定のものを取り上げているにしては、分量が多すぎる。 イラストが多用しており、作品例、活動例などが少なく、児童の活動のきっかけとなりにくい。
3	正確性、表記 ・表現等	<ul style="list-style-type: none"> 誤りや不正確な記述は見られない。 	<ul style="list-style-type: none"> 詩、作文、ふきだし、対話等が多く活用され、参考にはなるが文字が多すぎる。
4	創意工夫	<ul style="list-style-type: none"> 下巻末に「せいかつかずかん」があり、生活に必要な技能や習慣を身につけさせる上で、非常に参考になる。 「せいかつかずかん」にインデックスを活用し、わかりやすい。 土の中や水の中の生き物の様子が分かるイラストがある。また、自然の不思議についての写真もたくさん載っている。児童の興味・関心が喚起できる。 上・下巻の見開きの写真に臨場感があって学習意欲を引き立てる工夫がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 「たんごのせつく」「たなぼた」「とうじのゆ」などの伝統行事を多く扱っている。 学校付近の野や山、川の自然に包まれた児童の活動の様子を豊かに表現している。
5	その他	<ul style="list-style-type: none"> 字が大きくてインパクトがあり、無駄な言葉がない。 写真がダイナミックで色鮮やかでインパクトが強く、表紙が自然物を使って制作した写真で、興味をそそる。 	<ul style="list-style-type: none"> 絵の中にかぎっこ形式で文が書かれているが、字が細くて見にくい。

項目	発行者	38 光村図書出版	61 新興出版社啓林館
1	範囲及び程度	<ul style="list-style-type: none"> 生活科の8つの内容が、上・下巻の教科書の中に過不足なく盛り込まれている。 	<ul style="list-style-type: none"> 生活科の8つの内容が、上・下巻の教科書の中に過不足なく盛り込まれている。
2	選択・扱い 組織・分量	<ul style="list-style-type: none"> ホップ・ステップ・ジャンプと3段階の表示があり、活動を広めたり深めたりするヒントになるが、上巻でもカタカナが使用されているので、絵を見ただけでは区別が付きにくくわかりにくい。 写真の吹き出しやインタビューカードなどで人とのコミュニケーションを重視して扱っている。 活動のまとまりごとに作成され、時期が固定されていない。 グループでまとめた新聞や掲示物が写真で大きく載っているの参考になるが、「わくわくゆめらんど」の作品は少し上手にできすぎている。 全体的に少字が多いが、児童のつぶやきを詩のようにしているもので、興味を持ちやすい。 どの内容もバランスよく構成されている。 児童の作品例、表現方法の提示が少ない。 詩や歌、言葉遊びが活用されているので、児童の興味・関心が図れる。 イラストだけで構成されているところが多く、子どもの活動意欲がわくような言葉もほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 栽培に関する内容は、上巻だけに1・2年まとめて載っているので使いにくく、種類も少ない。 障害のある人・めがねをかけている人・高齢者・外国の人などさまざまな人が描かれ、人々のふれあいを大事にしている。 外国の人との交流も取り入れていて、国際交流に力を入れている。 生き物に関しては、たくさんの種類が写真で載っていて児童が興味を持ちやすい。 総合的な学習の時間へと発展するように環境、国際理解、福祉、情報がマークで示され、内容の系統性に配慮してある。しかし、マークの説明がほしい。 上巻は「学校と生活」、下巻は「地域と生活」をテーマとしてあるが、季節の移り変わりに基づいて構成されている。 イラストと写真が一つのページに半々の割合で使われているページが多く、児童の思考を妨げる。 児童の作品がたくさん載っているが、文章が長く、1年生の実態から見ると少し高度である。 同じような形式のカードが多い。 誤りや不正確な記述は見られない。
3	正確性、表記 ・表現	<ul style="list-style-type: none"> 誤りや不正確な記述は見られない。 	<ul style="list-style-type: none"> 誤りや不正確な記述は見られない。
4	創意工夫	<ul style="list-style-type: none"> 「きせつのおくりもの」で生き物や暮らしの様子が巻末に紹介してあり、写真も分かりやすく、楽しく活用できる。 目次は見開きになっていて、2年間を見通せるように2年分が出ているので分かりやすい。 「ウルトラジャンプ」が巻末にあり、児童の活動の広がりに利用できる。 児童の活動の一コマを表情豊かな写真が多く使用されているので「やってみよう」という思いが高まる。 	<ul style="list-style-type: none"> 巻末に「いきいきずかん」として調べ方やまとめ方がついていて分かりやすい。また、切り離して持ち出せるように工夫してあるので、児童が楽しみながら学習できる。 異学年との交流活動のマークがあるが、意味がわからない。
5	その他	<ul style="list-style-type: none"> 字がやや小さい。 	<ul style="list-style-type: none"> 資料が豊富にあるので活用しやすい。

項目	発行者	112 一橋出版	116 日本文教出版
1	範囲及び程度	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に示されている内容は、記述してある。 文字での表現が多く、発達段階に比べてやや高度である。 	<ul style="list-style-type: none"> 生活科の8つの内容が、上・下巻の教科書の中に過不足なく盛り込まれている。
2	選択・扱い 組織・分量	<ul style="list-style-type: none"> 学校や地域での人とのかかわりが少ないので、人とのかかわりを重視した活動への興味がわきにくい。 内容項目の「季節と変化と生活」「動植物の飼育・栽培」に重点が置かれている。 韓国の友人、タイから来ている友人の母など、国際性の視点、男女共同参画の視点など、今日的課題にもふれている。 物語を通して内容が羅列されているため、単元の区切りがわかりにくい。 児童の作品がほとんど載っていないので、学習活動の様子が分りにくい。 植物や風景のパステル画調の写実的なスケッチが多く使用されているが、子どもが生き生きと活動している場面の絵はほとんどない。 	<ul style="list-style-type: none"> 同じ公園に四季を通して遊びに行く構成になっており、比較しながら季節の変化に気づくことができる。 「季節と変化と生活」の内容が、季節ごとにイラストとビンゴゲームで継続的に扱ってあるので、児童の興味・関心を喚起する。 町探検の発表会の写真が載っていて、いろいろな発表の仕方があることが分かり参考になる。 単元名の次に「わたしと～」という表記があり、自分自身のかかわりでもとらえるという視点が明確になっている。 困ったときにどうするかなど、投げかけの言葉が使っており、活動のきっかけとなる。 様々な記録カード例が提示されているが、特に導入段階での例示の程度が、発達段階よりやや高度である。 思考を妨げないような表記の仕方に工夫が見られる。
3	正確性、表記 ・表現等	<ul style="list-style-type: none"> 誤りや不正確な記述は見られない。 	
4	創意工夫	<ul style="list-style-type: none"> 細部まではつきりわかる写真がたくさんあり、自然の美しさを感ずることができる。 対話が重視されているので、「話す」「聞く」ことの楽しさに気づかせることができる。 写真だけでなく、精密な写生画を導入して細部にわたって観察できるように配慮してあるが、児童にはなじまない。 コメントが入っていることで、児童の気づきを大切にすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 活動が分かるようなマークがあり、ひらがなで題も付いていて分かりやすい。 教科書を折ると、種・芽・花・製作がつながるようになってるので、児童の興味・関心を喚起できる。 単元末に「ポケットずかん」として、活動例などが示してあるので参考にしやすい。 点字が体験できたり、手話や外国語のあいさつが紹介してあったりして、福祉や国際化への視点にも気付けるような工夫がみられる。 道具の使い方、まとめ方などがていねいに示してあるので、参考にしやすい。
6	その他	<ul style="list-style-type: none"> 目次が裏表紙にあってわかりにくい。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童の活動の様子や楽しそうな表情が写真やイラストで表してある。

項目 \ 発行者	2 東京書籍	3 大阪書籍	4 大日本図書
<p>目標や内容に即した教科書の特徴</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習が楽しくなるようイラストに工夫があり、また活動を中心にしながらか、気づきを深めていく過程を大切にしている。 ・「チャレンジ、もうすぐ2ねんせい」など、児童の思考の広がりや深まりを大切に構成が工夫されている。 ・キャラクターの吹き出しの言葉や多様な資料によって、自ら学ぶ意欲、技能、習慣が身に付くようになっていく。 ・生活科の活動を繰り返しながら、じっくりかかわる活動が展開され、気づきを深め広げていく過程が大切にされている。 ・大判で見やすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・上巻を1学年の前期までにし、下巻を残り全ての単元になっているので、地域の実態に応じて弾力的な計画ができている。 ・「わくわくずかん」「まなびかたハンドブック」などの資料が多くあり、子どもの自主的な活動を支援している。 ・人権・福祉・環境、国際理解、情報教育を通して、児童の問題意識が芽生えるように配慮してある。 ・発展的学習内容として「もつとチャレンジ」を設け、主体的な活動を広げるように構成してあるが、内容がやや高度である。 ・大判で見やすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・上巻「なかよし」と下巻「大すき」とシンプルな大単元でわかりやすく構成されているため、8つの学習内容の学習計画が組みやすい。 ・地域の安全・防災についての気づきの場面が提示されているので意識化が図れる。 ・飼育、栽培などの資料が豊富であり、活動するときに必要なことに気づかせられる配慮がある。 ・活動しながら、楽しく生活習慣・技能が身に付くような生活スキル・学習スキルの活用がある。 ・臨場感の薄い写真がある。
<p>目標や内容に即した教科書の特徴</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・8つの内容は盛り込まれているが、身の回りの自然や廃材を使って遊びを工夫するという内容に重点が置かれている。 ・上・下巻とも活動が5つの大単元で構成され、それぞれの活動を通して付いた力がはつきりしている。 ・町の福祉に目を向けさせるような内容も盛り込まれているので、体験を通して気づくことができる。 ・「ものしりノート」「チャレンジずかん」などの資料が充実しているため、児童が主体的に活動できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の発達段階に沿って無理なく学習活動が深まる構成となっている。 ・活動意欲を喚起するような児童の活動場面の写真や視覚的に比較できる見開き構成の工夫がしてある。 ・絵カード、観察カード、造形遊びなど様々な表現活動が多く提示されているので、児童の気づきを深め広げていくことができる。 ・生き物に関する単元では、さまざまな生き物が比較して紹介されていて、興味・関心を高められる。 ・キャラクターを活用して活動のねらいをはつきりさせている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・26 信濃教育会出版部 ・自然豊かな特定の地域を舞台にして作られている。そのため、山・川など自然の風景も限定されたものになっている。また、教科書の中で児童が見つけにくい自然も特定の地域でしか見られないものを多く取り扱っている。 ・「さここ」「まこと」を主人公にして、児童や友だち、教師との生活を描くことで物語風に単元を構成している。 ・学校付近の野や山、川の自然に包まれた児童の活動の様子を豊かに示している。

<p>項目 \ 発行者</p> <p>目標や内容に即した教科書の特徴</p>	<p>3 8 光村図書出版</p> <ul style="list-style-type: none"> 各単元は、「町探検」「植物の栽培」など、活動のまとまりごとに構成され、活動の準備や時期が固定されていないので、弾力的に計画できる。 ホップ・ステップ・ジャンプと3段階の表示があるので、活動を広めたり深めたりするヒントになる。 児童の活動の一コマとして表情豊かな写真が多く使用されており、「やってみよう」という意欲が高まる表現方法が工夫されている。 「・・・しましう。」という指示的な言葉はなく、自ら気づくような詩や歌、言葉遊びが活用されている。 	<p>6 1 新興出版社啓林館</p> <ul style="list-style-type: none"> 上巻、下巻とも季節の移り変わりを大切に構成している。 障害のある人、めがねをかけている人、高齢者、外国の人などさまざまな人が描かれ、人のふれあいを大事にした扱いがなされている。 上巻末「わくわくずかん」・下巻末「いききずかん」に、調べ方やまとめ方がついていてわかりやすい。また、切り離して持ち出せるように工夫するなど、資料としても豊富である。 	<p>1 1 2 一橋出版</p> <ul style="list-style-type: none"> 自然を扱うとき、感覚を鋭くし、五感を通して感じることを強調し、それを写真や詩で表現している。 対話が重視されているので、「話す」「聞く」ことの楽しさに気づかせることができない構成になっている。 「赤ちやん劇」の単元があるが、「ごっこ」から発展して、生と性が感動的なものであることを示している。
<p>項目 \ 発行者</p> <p>目標や内容に即した教科書の特徴</p>	<p>1 1 6 日本文教出版</p> <ul style="list-style-type: none"> 上巻から下巻へ続いて、同じ公園に四季を通して遊びに行く構成になっている。比較する中で季節の変化に気づくことができる。 様々な記録カード例が提示されているが、特に導入段階での例示の程度が、発達段階よりやや高度である。 学習カードから自己評価や総合評価ができるように工夫されている。 点字が体験できたり、手話や外国語のあいさつが紹介してあったりして、福祉や国際化への視点にも気付けるような工夫が見られる。 		

項目	発行者	2 東京書籍	17 教育出版
1	範囲及び程度	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領の趣旨に沿って、児童の発達段階に応じた配慮がなされている。 題材数が低、中、高学年の時数に対応して設定されている。(低学年8、中学年7、高学年6) 表現と鑑賞の関連を適切に図られる配慮がしてある。 小アンサンブルのヒントや方法が示されていて、具体的な活動に結びつけやすい。 中学年のリコーダーの導入における内容が大まかで説明が少ないため、児童にとって理解しにくい。 高学年においてはアンサンブルが重視されていて、曲想について扱った教材が極端に少ない。 鍵盤楽器の奏法について導入教材が設定してあるが、楽器に対する興味関心を高める教材が少ない。 題材のねらいが短い言葉で書いているのだが、表現が抽象的なためにとらえにくい。 曲名がととも小さく、楽譜や絵とのバランスがよくない。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童の発達段階や学年の特性などをふまえた教材が選択してあるが、難易度の高いものも多数取り上げてある。 題材数が低、中、高学年の時数に対応して設定されている。(低学年7、中学年6、高学年5) 表現と鑑賞の関連を図る工夫が見られるが、内容的には難易度が高いといえる。 題材のねらいが明確で、活動内容や目標が具体的にとらえやすい。 基本部分の充実に加え、発展的、補充的な学習に用いる教材や活動も多く設定されているため、負担過重となる恐れもある。 高学年においては、アンサンブルが重視されている。
3	正確性、表記 ・表現等		<ul style="list-style-type: none"> 5年生の「子守り歌」におけるフラットのカッコ表示は、児童にとって理解しにくい表示である。
4	創意工夫	<ul style="list-style-type: none"> 生活科や総合的な学習の時間の時間と関連して学習していけるような活動内容が組み込まれており、現代的教育課題に対応している。 鍵盤ハーモニカの鍵盤表が実物大で掲載されており、児童の自主的な練習に役立てることができる。 復習コーナーが多く設けてあり基礎基本の定着に役立つ。 わが国や諸民族の音楽を積極的に取り上げている。 目次がB4の見開きとなっているため使いやすい。また、巻末の折り込みの表を見ながら同時に楽譜を見ることができると使いやすい。 リズム譜やアンサンブルの絵マーク、楽譜やリコーダー運指表などが全体的に小さめでわかりにくい。 写真ページの映像がとも美しく印象深い。 	<ul style="list-style-type: none"> 視覚にうつたええる表示が多く、特に低学年にはわかりやすい。 交互に歌ったり奏でたりする楽譜が色分けして表されているので理解しやすい。 巻末の見開きに、基本的な打楽器やその奏法が絵や写真で詳しく説明されていて理解しやすい。 わが国や諸民族の音楽を積極的に取り上げている。 「つくって表現する活動」を系統立てて行えるよう工夫されている。 リコーダーの運指に指番号がうってあり、巻末にも大きく掲載されているので児童の自主的な学習に役立つ。 写真ページの映像がとも美しく印象深い。
5	その他		

種目 音楽

項目	発行者	27 教育芸術社
1	範囲及び程度	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領の趣旨に沿って児童の発達段階に応じた配慮がなされている。
2	選択・扱い組織・分量	<ul style="list-style-type: none"> 題材数は全学年7題材に統一されており、題材の学年ごとの系統性が重視されている。 目次に、太字による主教材の明記がなされている。 表現と鑑賞との関連を図った活動がしやすい教材の取り上げ方がしている。 課題解決的な学習がすすめられるよう、随所にヒントを入れるなどの工夫が見られる。 中学年のリコーダーの導入における内容が充実しており説明もていねいである。 目標を焦点化して題材が設定しており、ねらいが具体的に示されている。 基礎・基本的な内容を整理して扱っている。 副次的な旋律が効果的に付け加えてある教材が多く、児童が楽しく音楽にかかわったり、達成感を持てる活動になるよう適切な配慮がしている。 低学年で数多く活動させたい身体表現について、具体的に写真で示されているのでわかりやすい。 図や写真の提示が多く、児童にとって理解しやすい。
3	正確性、表記・表現等	<ul style="list-style-type: none"> 5年生の「子守り歌」では、フラットありの楽譜の下に、フラットなしの楽譜が示されており、聴き比べや歌い比べの学習がしやすいように工夫されている。
4	創意工夫	<ul style="list-style-type: none"> 生活科や総合的な学習の時間と関連して学習していただけるような活動内容が組み込まれている。 鍵盤ハーモニカの鍵盤表が実物大で掲載されており、児童が自主的な練習に役立てることができる。 復習コーナーが多く設けてあり基礎基本の定着に役立つ。 リコーダーの図が児童に理解しやすいよう効果的に取り入れられていて、自主的に練習できるような手立てがしている。 わが国や諸民族の音楽を積極的に取り上げている。 歌詞の解説や学習のねらいに即した説明や語りかけがある。 写真ページの映像がとても美しく印象深い。
5	その他	

項目 \ 発行者	2 東京書籍	1 7 教育出版	2 7 教育芸術社
<p>・表現と鑑賞の関連を図った学習活動が展開しやすいようにヒントが示されている。</p> <p>・我が国や諸民族の音楽文化への理解が深まるような教材選択が行われている。</p> <p>・活動や表現の方法を自主的に選択して学習に取り組んでいけるような手がかりが具体的に示してある。</p> <p>・総合的な学習の時間や課題解決的な学習の推進に役立つような題材構成が工夫されている。</p>	<p>・「つくって表現」に関する活動例が具体的に充実している。</p> <p>・我が国や諸民族の音楽文化及び組み合わせ深まるような教材選択及び組み合わせが工夫されている。</p> <p>・生涯学習の基礎となるような題材の構成や楽曲の取り上げ方、及び取り扱い方が工夫されている。</p> <p>・発展的・補充的な学習に効果的な教材が取り入れられている。</p>	<p>・表現と鑑賞の関連を図った題材の構成や楽曲の配列が工夫してある。</p> <p>・我が国や諸民族の音楽文化への理解が深まるような教材選択がされており、写真等が効果的に使用されている。</p> <p>・活動や表現の方法を、自主的に選択して学習に取り組んでいけるような手がかりが具体的に示してある。</p> <p>・題材のねらいが明確に示してあり、学習が系統的、段階的に行えるように構成されている。</p> <p>・基礎、基本的な内容の定着が図れるように組織されている。</p>	

項目/発行者	2 東京書籍	9 開隆堂出版	116 日本文教出版
1 範囲及び程度	<ul style="list-style-type: none"> 参考作品の技法や作品がやや高度なものになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 適切である。 	<ul style="list-style-type: none"> 適切である。
2 選択・扱い組織・分量	<ul style="list-style-type: none"> 裏表紙が、造形的な視点での写真が紹介されており、児童の参考となる。 大きなマーカーを示し、多様な表現活動が可能であるが、制作過程の様子を表した図や写真が少なく、材料集めや制作過程の見通しが持ちにくい。 題材数は多く紹介しているが、参考作品中心の紙面構成になっている。同じような作品で広がりが少ない。 「何を、何で、どうやって」作るのか、子どもも、の思考を助けるようにカイダンスがあるが、ややマニアックである。 	<ul style="list-style-type: none"> 鑑賞ページが独立することとで、自発的な活動へつながりやすい。また、展示や発表などのプレゼンテーションの力を育てるような工夫がされている。 「造形あそび」と「絵や立体、工作」が一体化された課題が多い。 実験をすることができる。 培った力を総合的に生かす題材が、全ての学年に設定されている。 裏表紙に紹介されたいものには図工で培った力を他教科や総合的な学習で生かせるように関連が配慮されている。 題材数が多く、選択的、発展的な題材が多含まれ、活動の幅に広がりが持ちやすい。 写真や参考作品例が多い。イラスト等により制作過程も分かりやすい。 参考作品に理解を深めたりするためのコメントが添えられていて分かりやすいが、紙面構成上、やや過密で見づらい印象がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 鑑賞は、表現と関連づけて取り上げられており、活動に広がりが持てる。 各学年の題材名は、活動を限定せず豊かな表現へつなぐものである。 発達段階に応じた造形遊びが取り上げられている。 学習のねらいを各学年に応じて3つに分類してあり、明確である。 「くふう」「ふりかえり」のコメントが添えてあり、表現と鑑賞の一体化と自己評価の一助となる工夫がなされている。 題材数が厳選されている。 同一テーマで、表現方法や材料を児童が選択すること、も可能となるよう工夫されている。また、学年のねらいや活動の流れを児童が理解しやすい。イラスト等により制作過程も分かりやすい。
3 正確性、表記・表現等	<ul style="list-style-type: none"> 適切である。 	<ul style="list-style-type: none"> 適切である。 	<ul style="list-style-type: none"> 適切である。
4 創意工夫	<ul style="list-style-type: none"> 題材名の表記は、文字が大きく見やすい 「チャレンジ広場」(2ページ)に伝統玩具の要素の入ったミニ二題材が紹介されており、参考となる。 「みんなの道具箱」(2ページ)で、用具や工具の使い方、技法にふれており参考となる。 専門の人にお話を聞いて描いたり作ったりするよう、導入の工夫がなされた活動が各学年に設定されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 色合いやレイアウトがきれいですっきりして見やすい。 各教科書のはじめに専門家の作品や考えが載せてあり、子ども造形への意欲を高めるとともに、視野の広がりを可能にしている。 「道具箱」の中に、用具の扱いや材料集めのヒントがある。 一つの題材において、扱う素材が明確で集めやすい。また、使用場面の図が多く表紙裏に各学年とも「小さな美術館」としてモダンアートを紹介があり、子どもの視野を広げる一助となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 色合いやレイアウトがきれいですっきりして見やすい。 巻頭の折り込みのページをうまく利用してダイナミックな写真掲載し、子どもの造形的な興味・関心を高めている。 「ぞうけいずかん」では、自然物・造形物の美しさをよく表し、子どもの視野の広がりがもてるようにしている。 「色と用具のホームページ」が各学年にあり、用具・工具の使い方のみならず、画材や安全面に ついてもふれられたり、裏に発達段階にそって創造的な技能の確実な定着につながるやすい。 用具のマーク等で、安全性や後片づけ等を喚起する工夫がある。
5 その他	<ul style="list-style-type: none"> 適切である 	<ul style="list-style-type: none"> 適切である 	<ul style="list-style-type: none"> 適切である

項目\発行者	2 東京書籍	9 開隆堂出版	116 日本文教出版
<p>目標や内容に即した教科書の特徴</p>	<ul style="list-style-type: none"> 参考作品の技法や作品がやや高度なものになっている。 大きなテーマを示し、多様な表現活動が可能であるが、制作過程の様子を表した図や写真が少なく、材料集めや制作過程の見通しが持ちにくい。 「チャレンジ広場」(2ページ)に伝統玩具の要素の入ったミニ題材が紹介されており、参考となる。 「みんなの道具箱」(2ページ)で、用具や工具の使い方、技法にふれており参考となる。 「何を、何で、どうやって」作るのか、子どもたちの思考を助けるようにガイダンスがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 鑑賞と表現が関連づけられているが、特に鑑賞ページが独立することで、自発的な活動へつながりやすい。また、展示や発表などのプレゼンテーションの力を育てるような工夫がされている。 「造形あそび」と「絵や立体、工作」が一体化された課題が多く、豊かな造形体験をすることができている。 題材数が多く、選択的、発展的な題材が多く含まれ、活動の幅に広がりを持ちやすい。 写真や参考作品例も多く、イラスト等により制作過程がわかりやすい。 各教科書のはじめに専門家の作品や考えが載せてあり、子どもたちの造形への意欲を高めるとともに、視野の広がりを可能にしている。 「道具箱」(3ページ)の中に、用具の扱いや材料集めのヒントがある。 一つの題材において、扱う素材が明確で集めやすい。また、使用場面の図が多くイメージしやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> 鑑賞は、表現と関連づけを取り上げられており、活動に広がりを持つ。 各学年の題材名は、活動を限定せず豊かな表現へつなぐものとなっている。 学習のねらいが各学年に応じて3つに分類されており、明確である。 「くふう」「ふりかえり」のコメントが添えてあり、表現と鑑賞の一体化と自己評価の一助となる工夫がなされている。 同一テーマで、表現方法や材料を児童が選択することも可能となるよう工夫されている。また、学年のねらいや活動の流れを児童が理解しやすい。 巻頭の折り返みのページをうまく利用してダイナミックな写真を掲載し、子どもたちの造形的な興味関心を高める工夫が見られる。 「ぞうけいずかん」では、自然物・造形物の美しさをよく表し、子どもの視野の広がりがもてるようにしてある。 「色と用具のホームページ」が各学年にあり、用具・工具の使い方のみならず、画材や安全面についてふれられており、発達段階にそって創造的な技能の確実な定着につながりやすい。

項目	発行者	2 東京書籍	9 開隆堂出版
1	範囲及び程度	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に示された目標、内容、指定された題材等がふまえてある。 内容によっては、やや高度で複雑な部分が含まれている。 児童の興味・関心を喚起する内容が多く盛り込まれている。特に、実習・製作においては参考例が多く、作りたい意欲を喚起するような題材となっている。 環境を意識した取組みが重点的に扱われている。 生活の中から課題や問題を解決していこうとする意識や考える過程を重視して編集されている 8つの指導内容の技能の習得については、児童の興味・関心を大切に、体験活動が導入に位置づけられており、意欲的に取り組めるように組織されている。 基礎的、基本的な事項が参照ページに示されており、まとめが扱ってあるため、必要に応じて振り返ることができるが、その都度確かめながら学習を進めにくい面もある。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に示された目標、内容、指定された題材等がふまえてある。 基礎的、基本的な技能が確実に習得できることをねらい、平易なものから段階的に学習できるように系統的に題材が設定されている。 どの題材にも、環境への配慮が位置づけられ、繰り返し扱われることにより、児童が生活に生かすことができるようになっている。 2学年を通して6つのテーマが設定しており、各テーマの中に1～3つの題材が適切に設けられている。さらに、各題材の中で、8つの指導内容を相互に関連させながら組み合わせであり、それらを繰り返して学習することで定着するように組織されている。 基礎的な技能が身につくように細かい配慮のもとに編集されている。
3	正確性、表記 ・表現等	<ul style="list-style-type: none"> 用語、計量単位などの表記は適切で不統一はない。 	<ul style="list-style-type: none"> 用語、計量単位などの表記は適切で不統一はない。
4	創意工夫	<ul style="list-style-type: none"> 書き込み、クイズ形式など、児童の意欲付けが適切に設置されている。 「やってみよう」「つくってみよう」の事例が多く掲載されており、児童が自分の好みや能力に応じて選択できるように工夫されている。 発展的な学習は、単元末に配置され、児童の学びを深めるとともに、長期休業中の課題例としても活用できるように工夫されている。 新しい題材が必ず見開きのページで始まっており、学習の導入に取りかかりやすくなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習に必要な事項や資料がその都度提示されており、児童が見直しを持って、主体的に活動に取り組むことができる。 自分の生活を振り返ることができるように、図表・グラフの内容が工夫されている。 発展的な学習が多く盛り込まれており、児童が主体的に選択して取り組めるように、写真や図の掲載があるなどの工夫が見られる。 実習や調理では、基礎的、基本的な技能の習得が確実にできるように、平易なものから段階を追って提示されている。
5	その他	<ul style="list-style-type: none"> 教科書のサイズが、A B版で大きい。 学習したことを生かす段階で、家族とのかかわりを深めることを呼びかける記述が多く、実践化へつなげやすい。 写真が大きく提示されていたり、紙面のレイアウトが美しくなされている。見やすいく児童の印象に残るように工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 米のたき方の実習・実験では、ポイントを押さえた写真の掲載があり、わかりやすい。 児童にわかりやすいように挿絵や写真が適切に提示されており、見開きで見ることができるようコンパクトにまとめてある。

<p>項目 \ 発行者</p> <p>目標や内容に即した教科書の特徴</p>	<p>2 東京書籍</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自ら課題を見出し解決を図る問題解決的な学習がどの題材にも組み込まれており、児童が自分の生活について考えたり調べたりする活動を重視した学習展開となっている。 ・どの題材でも生活場面からの導入がなされており、まず「やってみよう」という児童のやる気を喚起し、そこから自分の生活を見つめ、問題解決していく力を育てていくように工夫されている。 ・製作や実習では、多くの事例が提示されており、児童が好みや個人の技能に応じて選択できるようになっている。 ・学習指導要領に示された8つの内容を、それぞれの内容ごとにとまとめて扱われていて、重点的な指導ができる。 ・写真が大きく多数提示されており、児童が自分の生活を想起しやすく、意欲的に学習に取り組むように工夫されている。 	<p>9 開隆堂出版</p> <ul style="list-style-type: none"> ・衣食住などの実践的・体験的な活動を通して、実感を持って学習することを重視した学習展開となっている。また、家庭生活についての基礎的な理解を図ったり、基礎的な技能を身につけたりできるように、児童の発達段階を考慮して基本的な事項が丁寧に記述されている。 ・教科内容の系統的な学習や、技能の発展的な習得をめざして、基礎的・基本的な知識や技能が確実に習得できるように工夫され、基礎的な学習から応用的な学習へ、さらに2学年を通して総合的に積み上げることができるようになっている。 ・衛生面や安全面、環境への配慮などについての記述や図がわかりやすく正確であるなど、実践化につなげる配慮が随所になされている。 ・発展的な学習内容は、児童個々の興味や関心に応じて深めていくことができるように、適切に取り上げられている。
--	---	---

項目	発行者	2 東京書籍	4 大日本図書
1	範囲及び程度	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領の目標や内容に即して単元が構成されており、偏りなく取り上げられている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領の目標や内容に即して単元が構成されており、偏りなく取り上げられている。
2	選択・扱い 組織・分量	<ul style="list-style-type: none"> 最近話題である SARS について取り上げており、児童の学習への関心を高められる。 室内の空気や明るさと健康についてしっかり取り上げている。 シンナーの扱いについて図示してあるが、図示することによりマイナス効果も考えられる。 「毎日の生活と健康」で「リズムのくずれた生活」というマイナス例を扱うのは適切ではない。また、生活習慣のひとつとして排便は大切な要素であり、記述が欲しい。 「生活習慣病」で、やせすぎ・肥満についての記述があるが、扱う時に該当児童への配慮が必要である。 「けがの手当て」で、子どもが簡単な処置をする場合、血液の取り扱いの説明がある。 けがの手当てについてわかりやすいレイアウトである。 写真やイラストなど分量として適切でありわかりやすい。 適切である。 	<ul style="list-style-type: none"> 「病気の予防」では、「抵抗力」についてわかりやすく説明している。 子どもの不安を取り除くような児童作文が掲載されている。 「おとなの体になるじゅんぴ」の服を着ているイラストでは、体つきの変化がわかりにくい。 「ミニ知識」や「調べてみようコーナー」があり、語句の説明や学習に役立つ説明がわかりやすい。 見開き2ページの構成となっており、わかりやすい。 「けがの手当て」で、子どもが簡単な処置をする場合、血液の取り扱いの説明がある。
3	正確性、表記 ・表現等		<ul style="list-style-type: none"> 「体の中の変化」の用語がルビ入りの漢字とひらがなで表記されているが、漢字にルビを付けるよう統一を図った方がよい。
4	創意工夫	<ul style="list-style-type: none"> マークを用いて学習課題を明らかにし、自主的な学習ができるように工夫されている。 インターネットによる調べ学習ができるための配慮がある。 「育ちゆく体とわたし」の身長グラフで、高学年部に拡大図があり読みやすい。 表紙に「人間ってふしぎだな」というタイトルが効果的である。 大切な言葉が太文字でありわかりやすい。 効果的な折込が設けられており活用がしやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> 単元のはじめにクロスワードパズルやクイズがあり、楽しく単元導入ができる。 「やってみよう」の欄など、自主的な学習が進められる。 インターネットによる調べ学習を行うための配慮がある。 子どもが気に入るような現代風のイラストが用いられている。 ページはじめの見出しが、子どもの視点に立った言葉になっている。 喫煙、飲酒、薬物の断り方のロールプレイングの方法が示され、実際に活用しやすい。 熱中症とその予防について、詳しく記述してある。
5	その他	<ul style="list-style-type: none"> 製本がしっかりしている。 文字が大きく読みやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ホッチキス製本であるが、ひっかからないよう工夫されている。 文章での記述説明が多く、また文字が小さく、1 ページ内の字體や文字の大きさが異なり読みづらい。

項目	197 学習研究社	207 文教社
1 範囲及び程度	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領の目標や内容に即して単元が構成されており、偏りなく取り上げられている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領の目標や内容に即して単元が構成されており、偏りなく取り上げられているが、「けがの防止」で水の事故防止について扱われていない。
2 選択・扱い 組織・分量	<ul style="list-style-type: none"> 「毎日の生活と健康」では、手の清潔だけでなく、つめ、耳、鼻も説明があり、子どもが気にかげやすくなっている。 「病気の予防」では、「抵抗力」についてわかりやすく説明している。 「水の事故」でグラフもありきちんと扱われている。 「けがの手当て」で救急への通報の仕方が扱われていてよい。 「けがの手当て」で、子どもが簡単な処置をする場合、血液の取り扱いの説明がある。 シンナーの吸い方が図示してあるが、図示することによるマインナス効果が考えられる。 ページの下に「知っている」「メモ」のコナーがあり、語句や学習に役立つ説明がありわかりやすい。 適切である。 	<ul style="list-style-type: none"> 「けがの手当て」についてポイントが説明されていてわかりやすい。 「けがの手当て」で、子どもが簡単な処置をする場合、血液の取り扱いの説明がない。 水の事故についての扱いがない。 「よりよい発育」における栄養素（たんぱく質、カルシウム、ビタミン）の記述がなく、やや不十分である。 心の変化、0-157、エイズについてそれぞれに1ページを使い、説明が充実している。 見開き2ページの構成となっており、わかりやすい。
3 正確性、表記 ・表現等	<ul style="list-style-type: none"> 適切である。 	<ul style="list-style-type: none"> 「喫煙開始年齢と肺がん死亡比」のグラフ（平成9年）など少し古いものがあるが、新しいものがよい。
4 創意工夫	<ul style="list-style-type: none"> 大切な言葉が、太字で表記してありわかりやすい。 見出しの文章がわかりやすく、児童の立場の表記になっている。 自分の考えを記述する欄があり、自分を振り返るのによい。 学習課題が明示されており、何を学習するかわかりやすい。 目次に学習のねらいが示されており学習することがわかりやすい。 インターネットによる調べ学習ができるための配慮がある。 喫煙、飲酒、薬物の断り方のロールプレイングの方法が示され、実際に活用しやすい。 熱中症とその予防について、詳しく記述してある。 製本がしつかりとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習課題が示されていて、わかりやすい。 自分自身の生活チェックや実践化のページがあり、生活に生かしやすい。 保健の先生（イラスト）がポイント箇所について説明をしていてわかりやすい。 喫煙、飲酒、薬物の断り方のロールプレイングの方法が示され、実際に活用しやすい。 イラスト・レイアウトなどビジュアル化されており大変わかりやすく見やすいページになっている。また、写真や図がきれい。
5 その他	<ul style="list-style-type: none"> 製本がしつかりとしている。 本文中の解説部分の文字が細く見えにくい。 	<ul style="list-style-type: none"> 製本がしつかりしている。 本文中の解説部分の文字が細く見えにくい。

項目 \ 発行者		208 光文書院
1	範囲及び程度	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領の目標や内容に即して単元が構成されており、偏りなく取り上げられている。
2	選択・扱い 組織・分量	<ul style="list-style-type: none"> 今日的な話題（コミュニケーション道路、バリアフリー、健康日本21）が取り上げられている。 5・6年p7現代の課題「不審者対応」が扱われていてよい。 「病気の予防」では、「抵抗力」についてわかりやすく図示している。 シナターの吸い方が図示してあるが、図示することによるマインナス効果が考えられる。 写真、新聞記事、ポスターなどによる資料が充実している。 飲酒・喫煙については、グラフなどの資料が少ない。 重要な語句についての説明が適切になされている。 「けがの手当て」で、子どもが簡単な処置をする場合、血液の取り扱いの説明がある。 適切である。
3	正確性、表記 ・表現等	
4	創意工夫	<ul style="list-style-type: none"> 学習課題が明確にされており、資料を活用して課題解決できるようになっている。 心の発達に伴う人とのかかわりや広がりやわかりやすく図示されている。 「けんこうな生活」では、2ページのイラストにより「健康とは」何かを考えさせる工夫がある。 喫煙、飲酒、薬物の断り方のロールプレイングの方法が示され、実際に活用しやすい。 表紙に「見つめよう健康」「けんこうってすばらしい」と記述されていてよい。
5	その他	<ul style="list-style-type: none"> ホッチキス製本で引っかかる可能性がある。

＜特別支援学校用（小学部聴覚障害者用）教科書＞

国語 言語指導

発行所	図書コード	書名	内容の特徴	内容の程度	印刷・製本	領域・教科 発達年齢等
教育出版	国語 B-111	こくごことば のべんきょう 一ねん（上）	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援学校小学部聴覚障害者用（1年生）の内容 1年生の興味や関心に即して身近なことばや発音の学習に取り組みめる内容になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活に必要な語句や会話の仕方が身につけられるようになっている。 全ページに挿絵があり、絵を見て楽しく会話ができる構成になっているが、今までの時代に合わない挿絵もある。 口形や息の出し方が分りやすく表してあり、発音の仕方を視覚的に確認しやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> 25.5cm×18cm 101ページ 厚手上質紙 全ページカラー 文字16～48ポイント 教科書体 	<ul style="list-style-type: none"> 国語 小学校1年生 個別学習、一斉指導
教育出版	国語 B-112	こくごことば のべんきょう 一ねん（下）	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援学校小学部聴覚障害者用（1年生）の内容 1年生の興味や関心に即して身近なことばや発音の学習に取り組みめる内容になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 身近なものの絵を見て、その名前を覚えたり色分けや仲間分けをしたりして、語彙を増やすことができる。 簡単なことばや会話ができる。 絵と文を手がかりに動作したり、会話で話合うことができたり、会話が、今の時代に合っていない挿絵もある。 全ページ挿絵があり理解の助けになるが、サ行、ラ行を含む語句、文を明瞭に話すよう意識づけている。 	<ul style="list-style-type: none"> 25.5cm×18cm 115ページ 厚手上質紙 全ページカラー 文字12～48ポイント 教科書体 	<ul style="list-style-type: none"> 国語 小学校1年生 個別学習、一斉指導
教育出版	国語 B-211	こくごことば のべんきょう 二ねん（上）	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援学校小学部聴覚障害者用（2年生）の内容 2年生の興味や関心に即して身近なことばや発音の学習に取り組みめる内容になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活に必要な簡単な会話、語句や短い文の読み書きを身につけられる。 単音、長音の連い、濁音、半濁音、清音の違いを色と記号を使い視覚的に分かちやすい。 学校生活や自分の体など児童に身近な生活場面の挿絵を使って詳しく表現する学習ができる。 全ページ挿絵があり理解の助けになるが、今の時代に合っていない挿絵もある。 随所に発音練習を取り入れてある。 	<ul style="list-style-type: none"> 25.5cm×18cm 105ページ 厚手上質紙 全ページカラー 文字12～48ポイント 教科書体 	<ul style="list-style-type: none"> 国語 小学校2年生 個別学習、一斉指導
教育出版	国語 B-212	こくごことば のべんきょう 二ねん（下）	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援学校小学部聴覚障害者用（2年生）の内容 2年生の興味や関心に即して身近なことばや発音の学習に取り組みめる内容になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活に必要な簡単な会話を学んだり、語句や短い文の読み書きを身につけたりする内容である。 全ページ挿絵があり理解の助けになるが、今の時代に合っていない挿絵もある。 随所に発音練習が盛り込まれている。 	<ul style="list-style-type: none"> 25.5cm×18cm 93ページ 厚手上質紙 全ページカラー 文字12～48ポイント 教科書体 	<ul style="list-style-type: none"> 国語 小学校2年生 個別学習、一斉指導

＜一般図書＞

発行所	図書コード	書名	内容の特徴	内容の程度	印刷・製本	領域・教科、 発達年齢等
くもん出版	D01	ひらがなカード	表には身近な物のイラストとことばが表記され、裏面にはひらがな1文字が表記されている。	<ul style="list-style-type: none"> ひらがな読みを挿絵付きで単音ではなく、ことばの中で学習できる。 カードになっており、手に持って自分で学習できる。 指導者と児童・生徒とのふれあいを通して、学習意欲を高め、ことばの数を増やすことができる。 英語の表現も表記されており、英語学習のきっかけ作りにもなる。 	<ul style="list-style-type: none"> 18.3cm×12.3cm ことばの絵本—46ページ カード46枚+予備3枚 	<ul style="list-style-type: none"> 国語、生活 ～小学校低学年 個別学習、一斉指導
同成社	A01	ゆっくり学ぶ子どものための「こくご」1 (改訂版) (ひらがなのことば・文・文章の読み)	生活場面や物語の絵を見て、ことばの理解を深め、読みの力を伸ばす内容となっている。	<ul style="list-style-type: none"> 分かち書きがしてあり、文節が捉えやすい。 全てひらがな表記である。 絵と文で構成されており、理解の助けになる。 挿絵はカラーのものが少なく、イメージをふくらませにくいが、イメージの情報が豊富である。 1ページの展開例が示されている。 指導者向けの展開例が示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 25.5cm×18cm 80ページ 一部カラー 文字16～48ポイント 正楷書体 上質紙 	<ul style="list-style-type: none"> 国語 小学校1年生 個別学習、一斉指導
同成社	A02	ゆっくり学ぶ子どものための「こくご」2 (改訂版) (かたかな・かん字の読み書き)	カタカナ、漢字の読み方から始まり、カタカナや漢字の混じった文章を読む、書き方の練習をするという内容構成となっている。	<ul style="list-style-type: none"> 導入部分は、イラストが用いられており、単語が想起しやすい。 カタカナの清音、半濁音、濁音、漢字はよく使うもの120字程度の読み書きを習得できる。 後半の43ページは文字の練習帳になっている。 指導者向けの展開例が示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 25.5cm×18cm 80ページ 一部カラー 文字12～72ポイント 正楷書体 上質紙 	<ul style="list-style-type: none"> 国語 小学校低学年 個別学習、一斉指導
同成社	A03	ゆっくり学ぶ子どものための「こくご」3 (改訂版) (文章を読む、作文・詩を書く)	文章の読みから始まり、漢字の音訓、文章の内容の読み取り、詩や作文の例文という内容構成となっている。	<ul style="list-style-type: none"> 簡単な漢字とカタカナが用いられている。 挿絵はカラーは一部で、白黒が多い。 指導者向けの展開例が示されている。 自分の名前や短い文を直接書き込めるようになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 25.5cm×18cm 80ページ 一部カラー 文字22ポイント 正楷書体 上質紙 	<ul style="list-style-type: none"> 国語 小学校中学年 個別学習、一斉指導
同成社	B01	ゆっくり学ぶ子どものための「こくご」入門編1 (改訂版) (表象形成・音韻形成・発声・発音)	生活場面や身近にあるものについて取り上げている。 絵を見ながら指導者の問いかけに答えたり、もの名前を発音できる内容構成となっている。	<ul style="list-style-type: none"> ひらがなはなく、全て絵で構成されている。 1ページの情報量が多い。 絵を見てももの名前を言ったり、音や鳴き声を模倣したりする内容が盛り込まれている。 	<ul style="list-style-type: none"> 25.5cm×18cm 72ページ 一部カラー 絵のみで文字は無し 上質紙 	<ul style="list-style-type: none"> 国語 ～5歳 個別学習、一斉指導

発行所	図書コード	書名	内容の特徴	内容の程度	印刷・製本	領域・教科、 発達年齢等
同成社	B02	ゆつくり学ぼう のたのしい「こく ご」入門編2(改 訂版)(ひらがな の読み書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・身近なものを使いながらひらがなを分かってやすく指導できる内容となっている。 ・書字力が段階的に身につくように工夫してある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ひらがなを書くページは、段階的に書ける工夫がしてあり、児童にとって使いやすい。 ・促音、拗音、長音の発音、表記の違いが挿絵を用いて分かりやすい。 ・筆順の練習ができる。 ・指導者向けの展開例が示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・25.5cm×18cm ・72ページ ・一部カラー ・読むペーページは32～60ポイント、書くペーページは48～60ポイント ・上質紙 	<ul style="list-style-type: none"> ・国語 ・小学校1年生 ・個別学習、一斉指導

都道府県の設置する義務教育諸学校（県立特別支援学校）において使用する教科用図書の採択について

1 採択の規定（義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第13条）

- 県立特別支援学校において使用する教科用図書の採択は、あらかじめ選定審議会の意見を聞いて、種目ごとに一種の教科用図書について行うものとする。
- 県立特別支援学校において使用する教科用図書は、「特別支援学校用（小・中学部）教科書目録」に登録された教科用図書のうちから採択しなければならない。
- 県立特別支援学校、特別支援学級においては、学校教育法附則第9条の規定により、目録に登録されている教科用図書以外のものを使用することができる。

※「特別支援学校用（小・中学部）教科書目録」に登録されているのは文部科学省著作本であり、点字版や知的障害教育用等の図書であって、検定教科書はこの目録に登録されていないために「一般図書（特別支援学校・学級用）」扱いとなる。

2 採択方針

各県立特別支援学校においては、各学校における児童・生徒の障害等の実態に応じて最も適当と思われる教科用図書を選定し、県教育委員会に採択申請を行う。県教育委員会は各学校長からの採択申請に基づいて審査を行い、決定する。